

どこでも写真管理 Plus⁺

どこでも写真管理 Plus (Android 版) 操作手順書 (黒板作成・連携ツール使用時)

EX-TREND武蔵の写真管理、黒板作成・連携ツール、どこでも写真管理Plusでデータを連携して、電子小黒板機能付き工事写真を撮影する手順を解説します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。

※CIMPHONY Plus 連携ツール：2022/2/24版で解説しています。

インストールするには、FCアカウントの個別ダウンロードを行ってください。

注意 使用時の注意点

下記を超えると、端末のメモリー等の仕様にもよりますが動作が不安定となる可能性がありますので、それ以下で運用することをお奨めします。

- (1) 黒板セットあたりの黒板数：50枚以下
- (2) 黒板セット数：20セット以下
- (3) 黒板総数：200枚以下
- (4) 撮影済み写真は200枚程度を最大として、随時PCへ保存

目次

どこでも写真管理Plus（Android版）操作手順（黒板作成・連携ツール使用時）

1. どこでも写真管理Plusの概要	1
1-1 どこでも写真管理Plusの動作の許可について	1
1-2 黒板データ・写真を転送する方法について	2
2. 写真管理で工種分類を作成する	4
2-1 工種分類を作成する	4
3. 黒板作成・連携ツールで黒板データを作成する	5
3-1 黒板作成・連携ツールを起動する	5
3-2 黒板を作成する	7
3-3 黒板の情報を設定する	9
3-4 豆図を設定する	10
4. 黒板データをどこでも写真管理Plusに転送する	12
4-1 転送先の工事データを作成する	12
4-2 USB接続で黒板データを転送する場合	13
4-3 CIMPHONY Plusを使って黒板データを転送する場合	17
4-4 SnapChamberを使って黒板データを転送する場合	20
5. どこでも写真管理Plusで写真を撮影する	22
5-1 USB接続で転送された黒板データを取り込む場合	22
5-2 CIMPHONY Plusで転送された黒板データを取り込む場合	24
5-3 SnapChambeで転送された黒板データを取り込む場合	26
5-4 電子小黒板付き写真を撮影する	29
6. 撮影した写真を写真管理に取り込む	33
6-1 USB接続で写真を取り込む場合	33
6-2 CIMPHONY Plusを使って写真を取り込む場合	37
6-3 SnapChamberを使って写真を取り込む場合	42

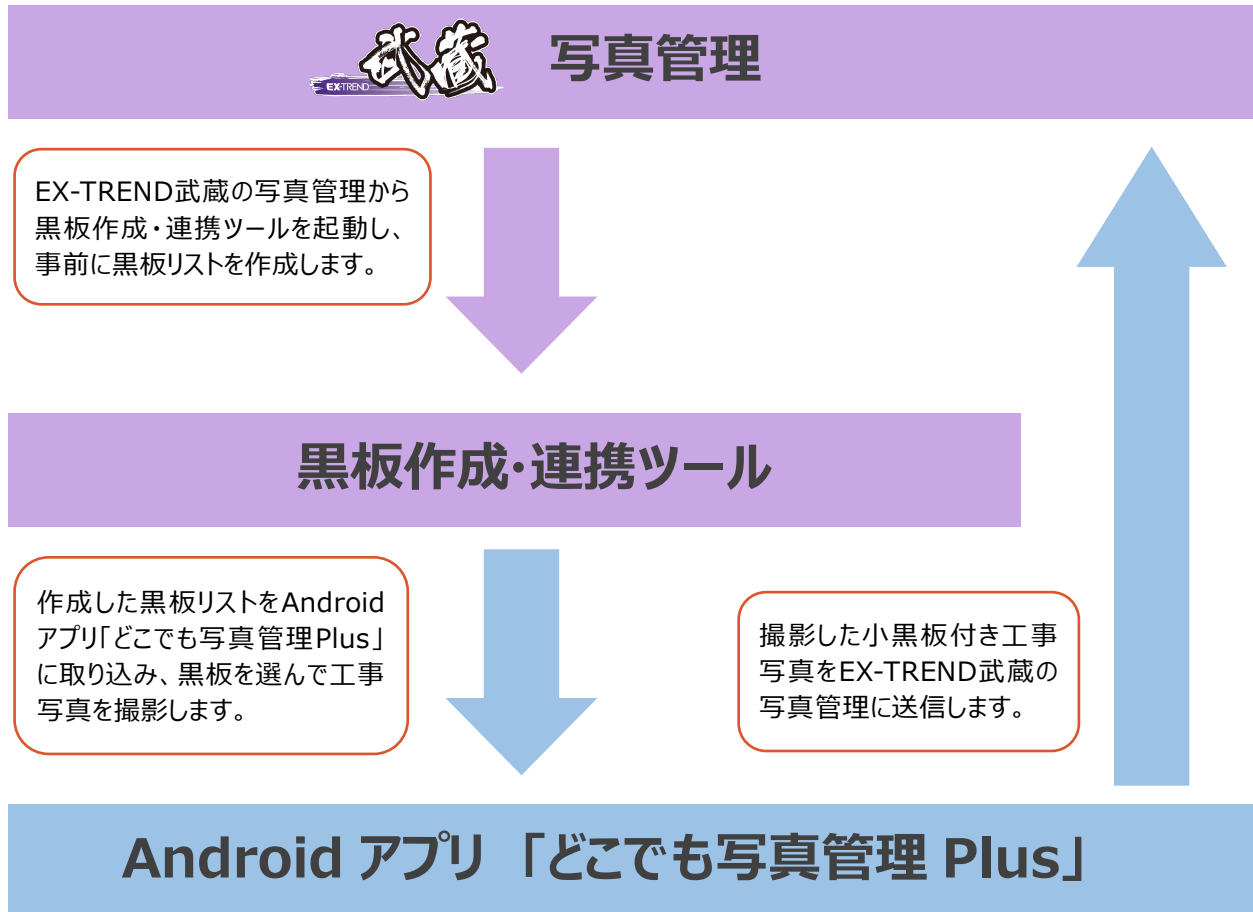
1

どこでも写真管理 Plus の概要

「どこでも写真管理Plus」とは、電子小黑板機能付き工事写真撮影アプリです。

本書では、EX-TREND武蔵の写真管理、黑板作成・連携ツール、Androidアプリ「どこでも写真管理Plus」の連携について説明します。

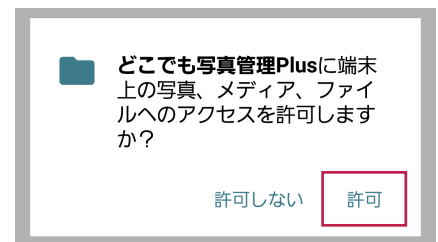
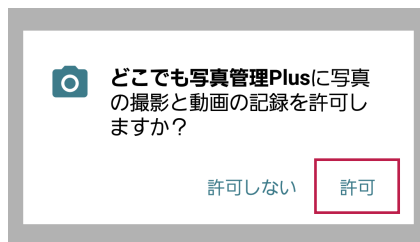
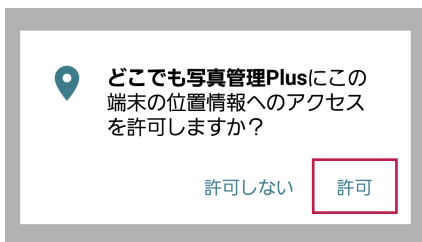
※クラウド連携を使用する場合は【CIMPHONYPlus】または【RICOH SnapChamber】のご契約が別途必要になります。



1-1 どこでも写真管理Plusの動作の許可について

スマートフォンで「どこでも写真管理Plus」を起動した時に、各種動作の許可を求める画面が表示される場合があります。この画面では、すべて「許可」を選択します。

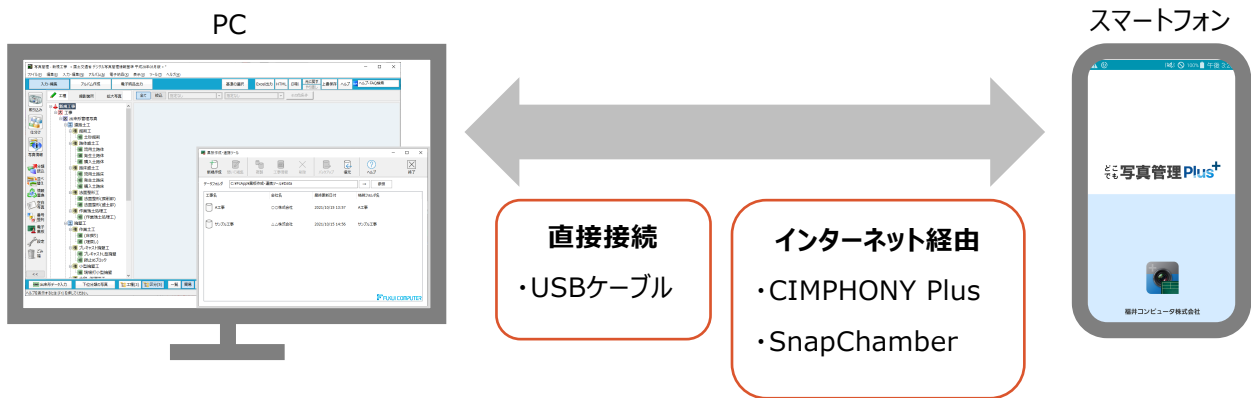
【画面例】



1-2 黒板データ・写真を転送する方法について

PC－スマートフォン間で黒板データや写真を転送するには、直接USBケーブルで接続する方法とインターネットを経由する方法があります。

インターネットを経由する方法は「CIMPHONY Plus」を使用する方法と「SnapChamber」を使用する方法があり、PCとスマートフォンが離れた場所（事務所と現場など）にある場合でも黒板データや写真を転送することができます。

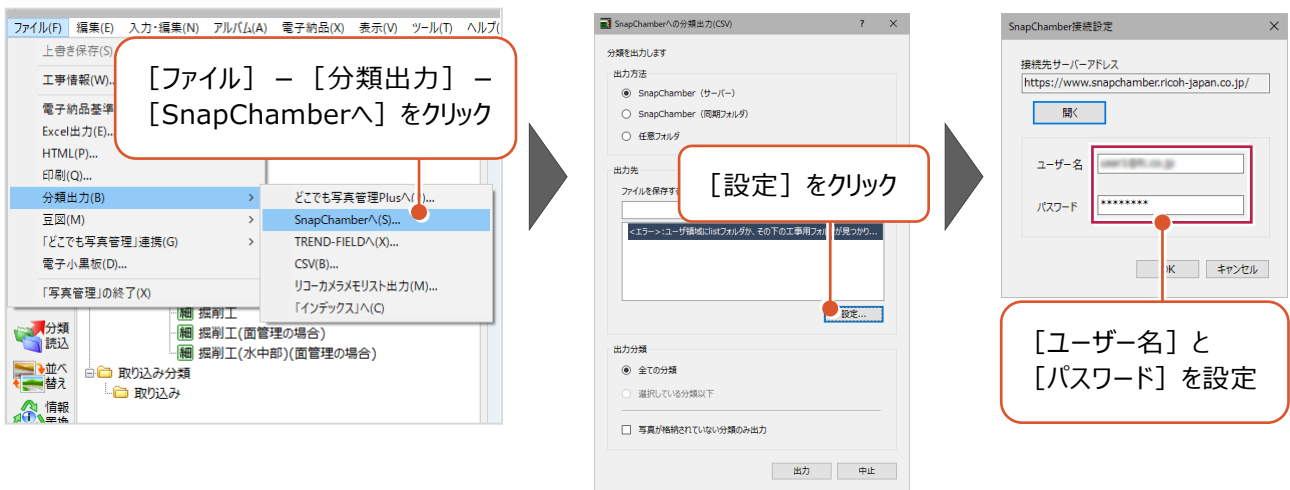


「SnapChamber」を使用する場合は、以下の方法で事前準備をおこないます。

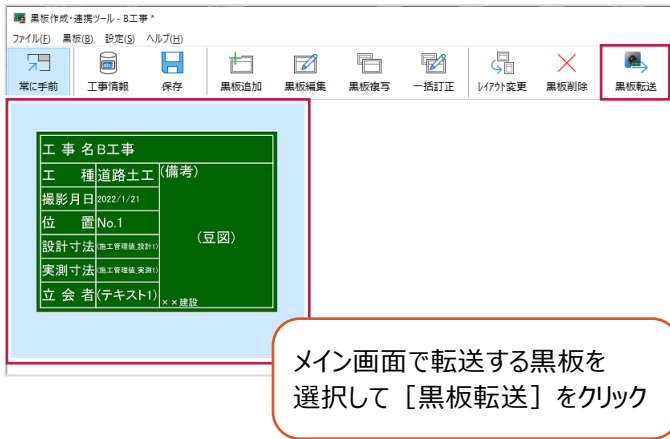
■ SnapChamber の事前準備

SnapChamberの「ユーザー名（アカウント）」と「パスワード」を、EX-TREND武蔵の写真管理、黒板作成・連携ツール、どこでも写真管理Plus で同じ設定に合わせる必要があります。

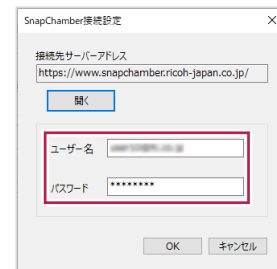
EX-TREND 武蔵の写真管理の SnapChamber 設定場所



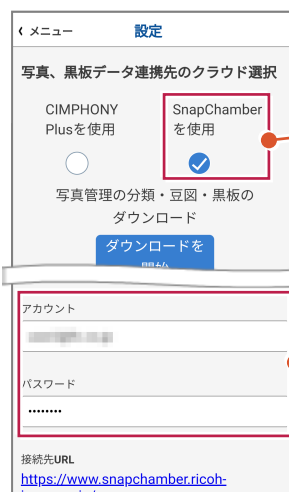
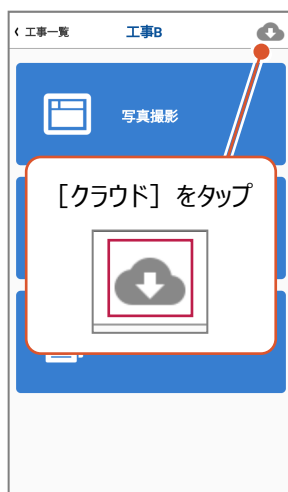
黒板作成・連携ツールの SnapChamber 設定場所



[SC接続設定] でSnapChamberのユーザー名とパスワードを入力



どこでも写真管理 Plus の SnapChamber 設定場所



[SnapChamberを使用] を選択

[アカウント] (ユーザー名) と [パスワード] を設定

注意 使用する SnapChamber のユーザー名 (アカウント) は、他 PC やスマートフォンでは使用しないでください

他のPCやスマートフォンからアクセスがあると、SnapChamberで管理している工事情報や写真の転送情報などが上書きされ、正しく連携できなくなる恐れがあります。

使用するSnapChamberのユーザー名 (アカウント) は、単独でお使いください。

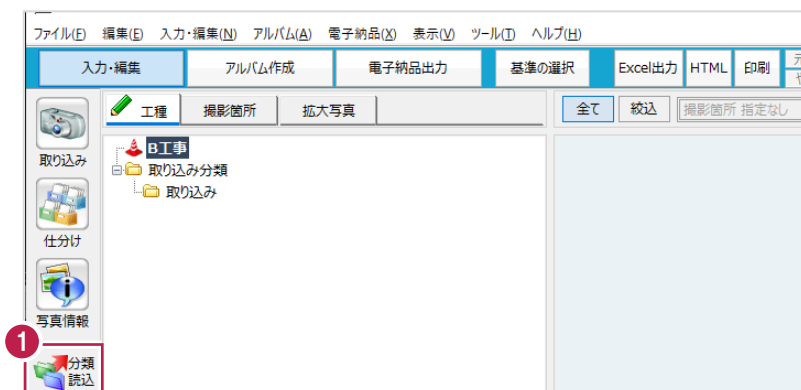
2

写真管理で工種分類を作成する

2-1 工種分類を作成する

EX-TREND武蔵の写真管理で使用する分類を用意しておきます。
ここでは、工事テンプレートから読み込む例で説明します。

① [分類読込] をクリックします。

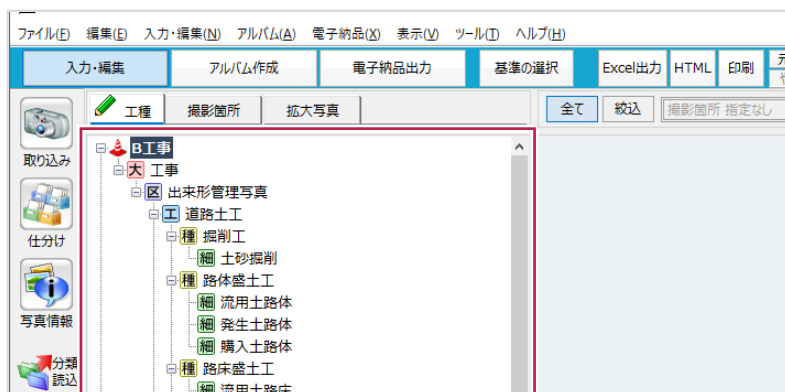
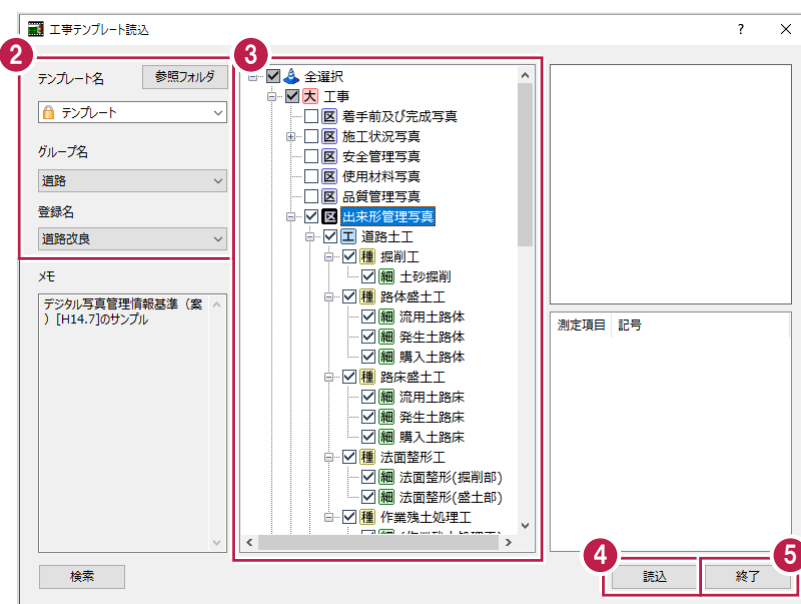


② [テンプレート名] [グループ名] [登録名] を選択します。

③ 読み込む分類をオンにします。

④ [読込] をクリックします。

⑤ [終了] をクリックします。
分類が読み込まれます。



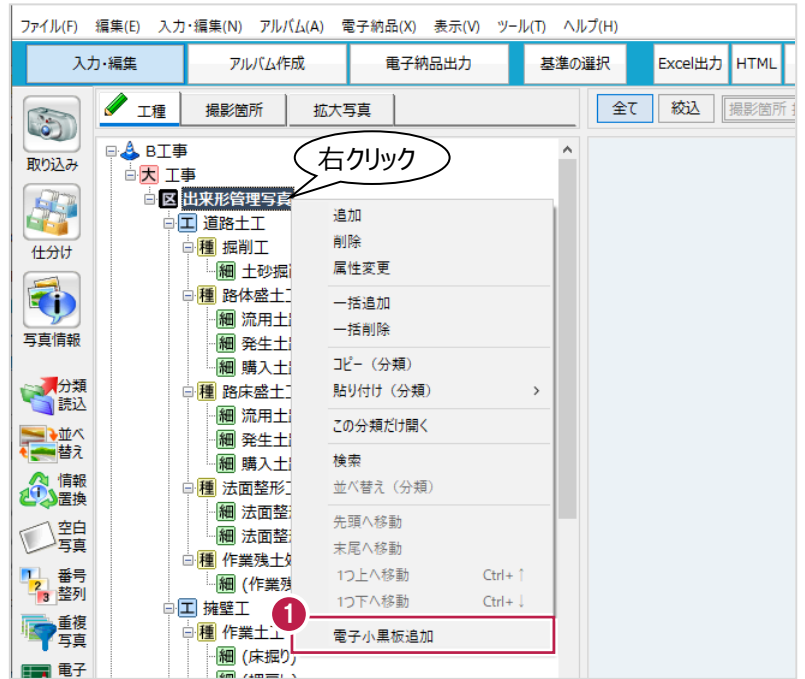
3

黒板作成・連携ツールで黒板データを作成する

3-1 黒板作成・連携ツールを起動する

写真管理から黒板作成・連携ツールを起動します。

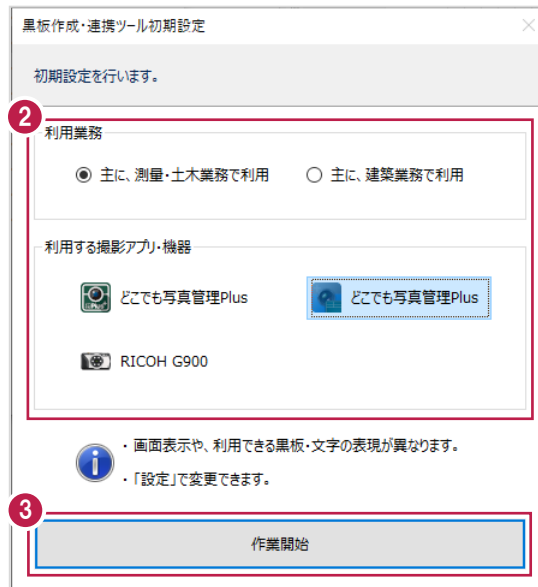
- 1 分類ツリーで右クリックして [電子小黒板追加] をクリックします。



- 2 黒板作成・連携ツールをインストール後に初回起動する際は、初期設定を行います。

利用する撮影アプリ・機器は
[どこでも写真管理 Plus] (右側) を選択
します。

- 3 [作業開始] をクリックします。



- 4 工事内で初回起動する際は、工事名、河川路線名、受注者名を確認して [OK] をクリックします。

黒板作成・連携ツールに工事データが作成され、メイン画面が開きます。

【工事名】 : 工事情報の [工事名称] が反映されます。

【河川路線名】 : 工事情報の [河川路線名等] が反映されます。

【受注者名】 : 工事情報の [受注者名] が反映されます。

各項目は黒板の「工事名」「河川路線名」「受注者名」に連動します。

新規作成

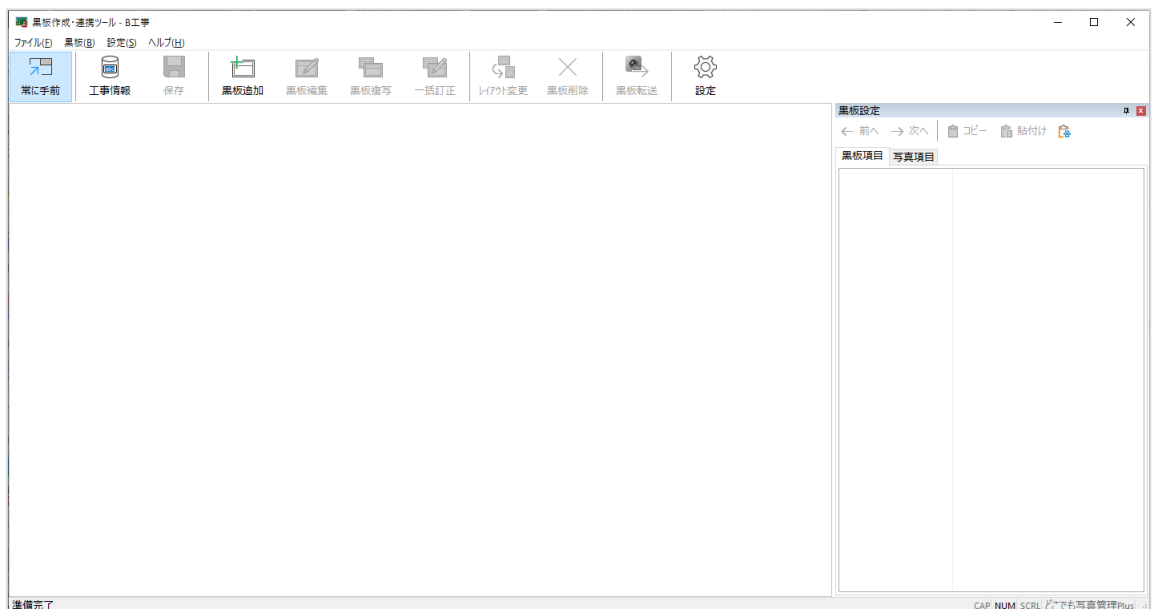
新しく工事データを作成し、作業を開始します。

工事名 B工事

河川路線名 B路線

受注者名 ××建設

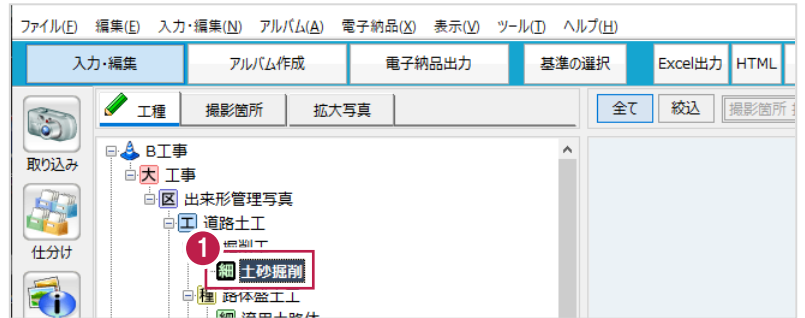
4 OK キャンセル



3-2 黒板を作成する

写真管理の分類や撮影箇所を利用して、黒板を作成します。

① 写真管理で分類を選択します。



② 黒板作成・連携ツールで [黒板追加] をクリックします。



③ 追加方法、追加黒板数を設定します。

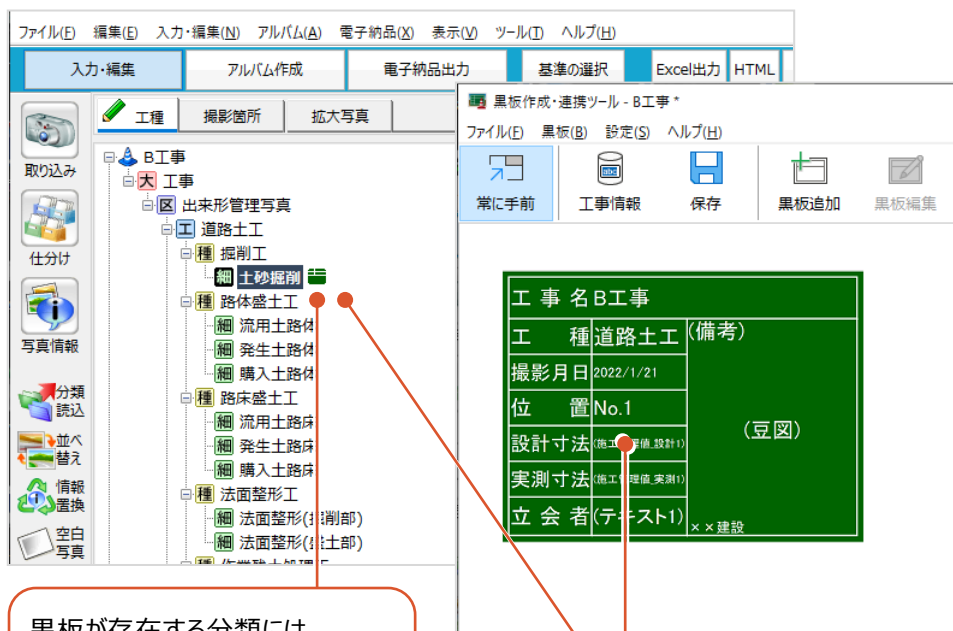
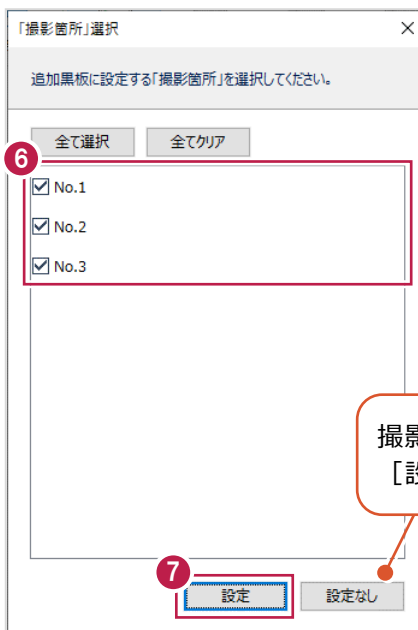
④ 黒板レイアウトを選択します。


⑤ [OK] をクリックします。



⑥ 写真管理に撮影箇所が登録されている場合は、黒板に撮影箇所を設定することができます。設定する撮影箇所をオンにします。

⑦ [設定] をクリックします。黒板が追加されます。



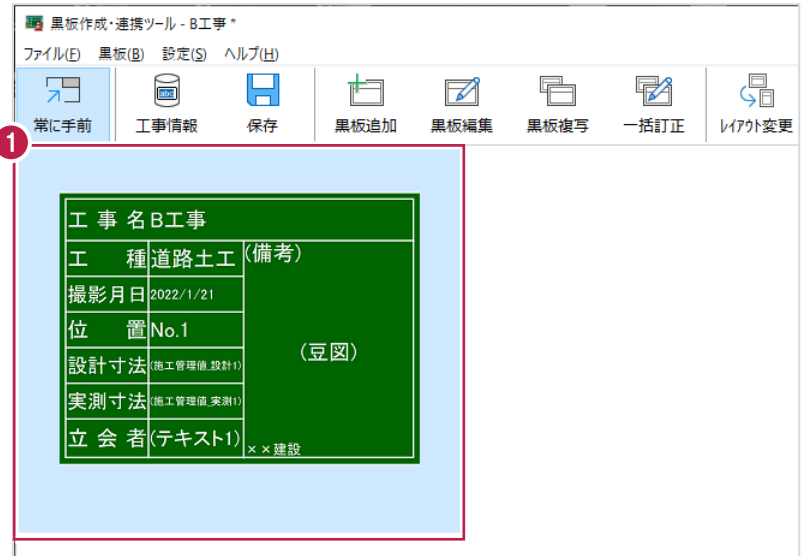
黒板が存在する分類には黒板マーク  が表示されます。

選択した分類の黒板が表示されます。黒板には分類と撮影箇所が反映されます。

3-3 黒板の情報を設定する

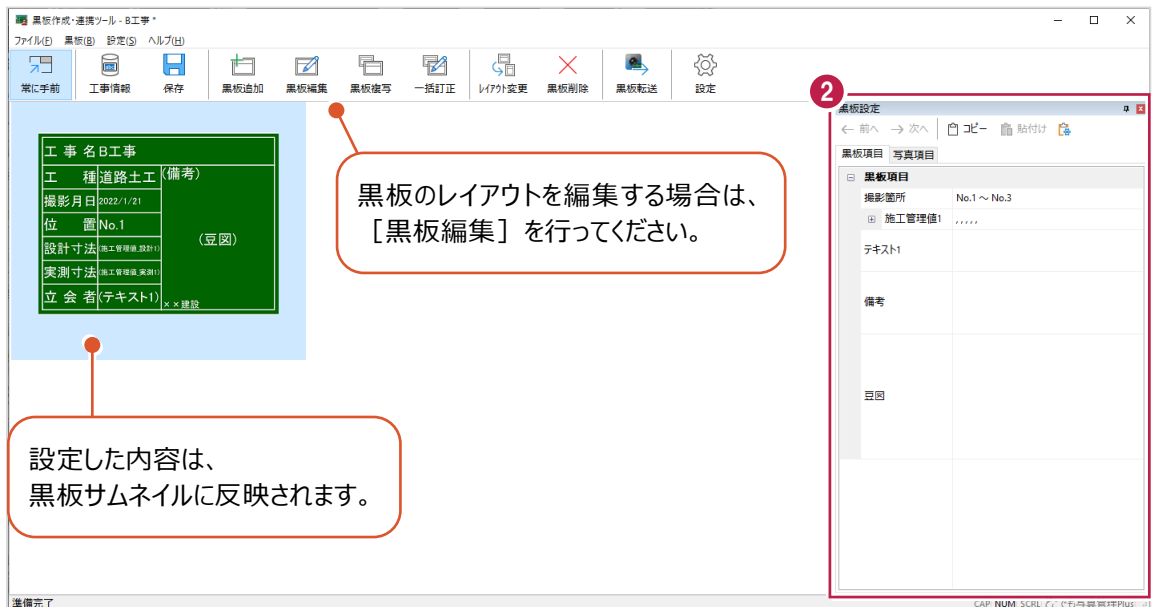
黒板の情報を設定します。

① 黒板を選択します。



② メイン画面右側の [黒板設定] で黒板の情報を設定します。

(詳細は黒板作成・連携ツールのヘルプを参照してください。)



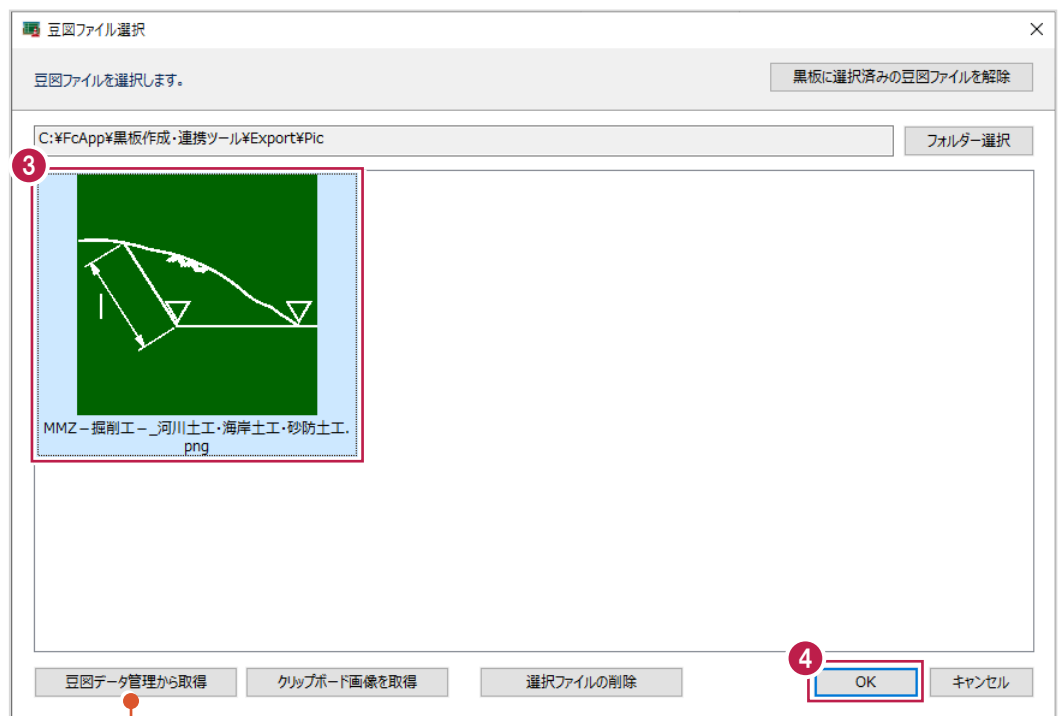
3-4 豆図を設定する

必要に応じて豆図を設定します。

- 1 [黑板設定] で [豆図] の項目をクリックします。
- 2 [...] をクリックします。



- 3 豆図を選択します。
- 4 [OK] をクリックします。



一覧に何も登録されていない場合は、
[豆図データ管理から取得] から
[豆図データ管理] を起動して豆図を
取得してください。
[豆図データ管理] での操作については、
EX-TREND武蔵のヘルプ「豆図データ
管理ウィンドウ」を参照してください。

黑板作成・連携ツール - B工事*

ファイル(F) 黑板(B) 設定(S) ヘルプ(H)

常に手前 工事情報 保存 黑板追加 黑板編集 黑板複製

工事名	B工事
工種	道路土工 (備考)
撮影月日	2022/1/21
位置	No.1
設計寸法	(施工管理値_設計1)
実測寸法	(施工管理値_実測1)
立会者(テキスト1)	××建設

豆図が設定されます。

黑板設定

← 前へ → 次へ | 白 コピー 貼付け

黑板項目 写真項目

黑板項目

撮影箇所	No.1 ~ No.3
施工管理値1
テキスト1	
備考	

豆図

4

黒板データをどこでも写真管理 Plus に転送する

必要な黒板データを作成したら、黒板データをAndroidアプリ「どこでも写真管理 Plus」に転送します。

転送する方法は3通りあります。

- ・USBケーブルで接続して転送 →4-1と4-2の操作をおこないます
- ・CIMPHONY Plusを使って転送（インターネット経由）→4-1と4-3の操作をおこないます
- ・SnapChamberを使って転送（インターネット経由）→4-1と4-4の操作をおこないます

4-1 転送先の工事データを作成する

あらかじめスマートフォンの「どこでも写真管理 Plus」で、黒板データの転送先となる工事データを作成しておきます。

- 1 スマートフォンで、どこでも写真管理 Plus を起動し、[工事新規作成]（+マーク）をタップします。



- 2 [工事名称] など工事の情報を入力します。
- 3 入力を終わったら、[工事一覧] をタップします。



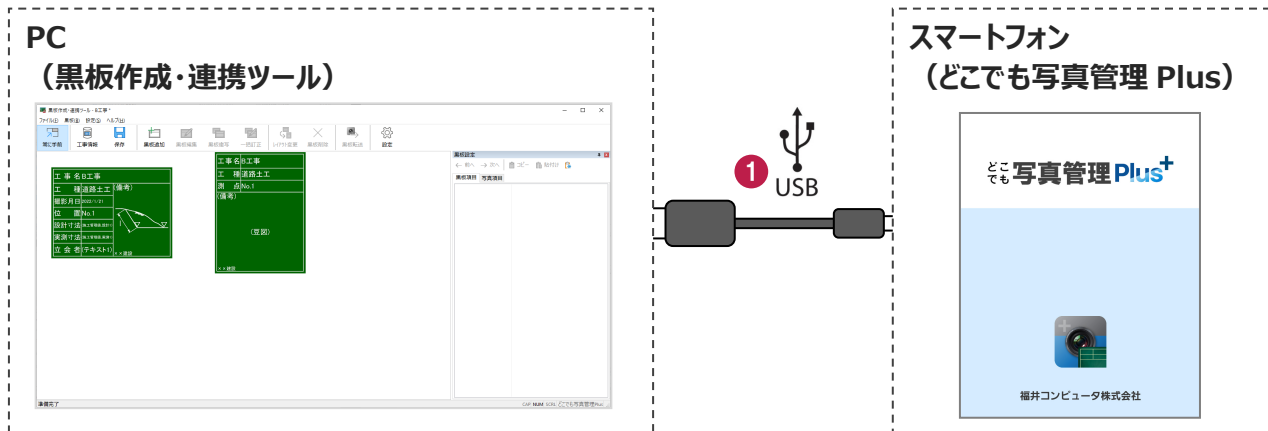
- 4 工事一覧に戻ります。
黒板データの転送先の工事が作成されていることを確認します。



4-2 USB接続で黒板データを転送する場合

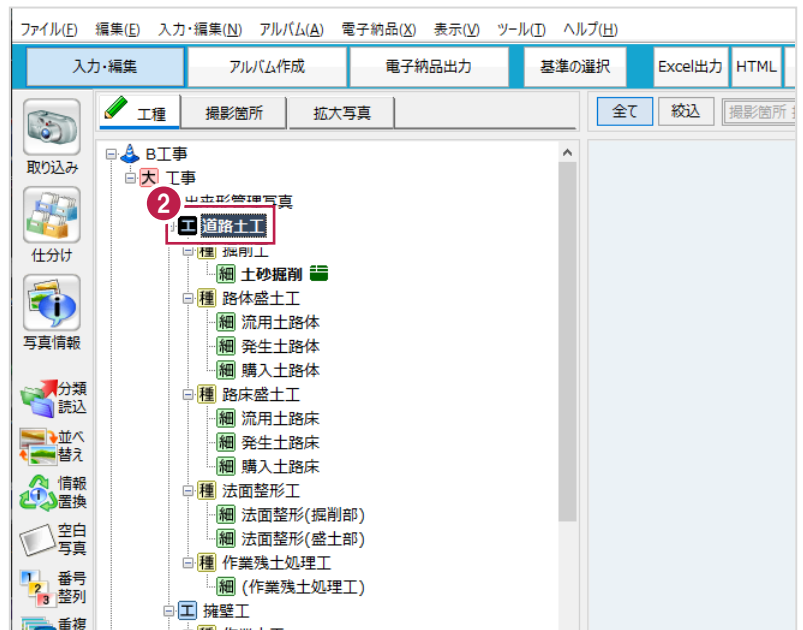
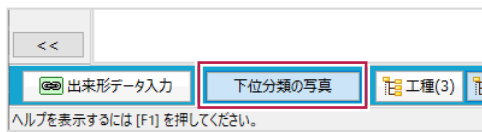
PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続し、黒板データを「どこでも写真管理Plus」に転送します。

- 1 PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。



- 2 写真管理で分類を選択します。

下位分類の黒板をまとめて転送する場合は、
「下位分類の写真」をオンにして黒板を
表示してください。

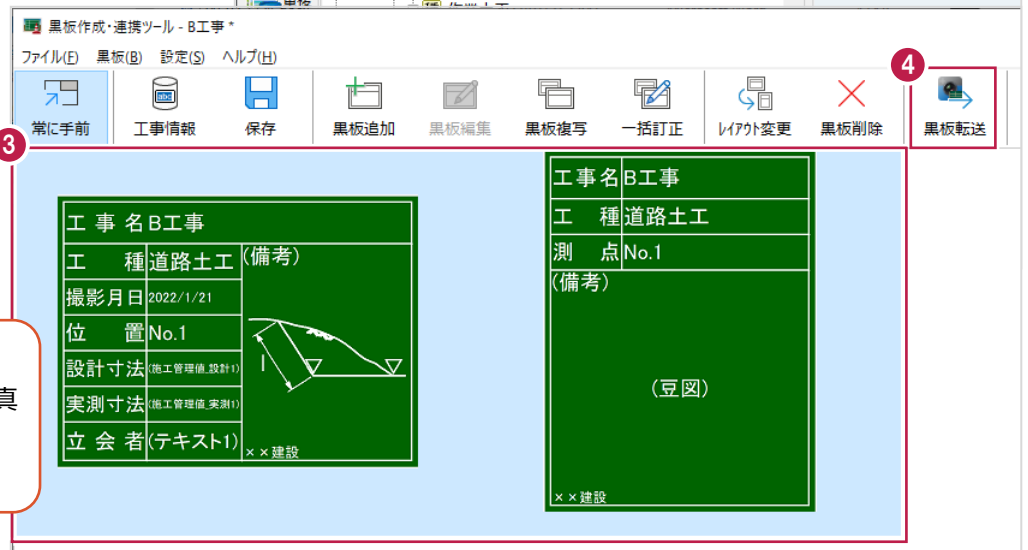


- 3 黒板を選択します。

※ctrl キーで複数選択して
転送することもできます。

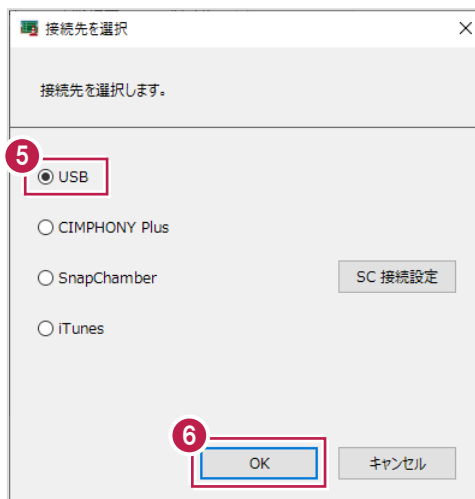
- 4 「黒板転送」をクリック
します。

「設定」の「利用する撮影
アプリ・機器」は「どこでも写真
管理Plus」（右側）を選択
して操作してください。



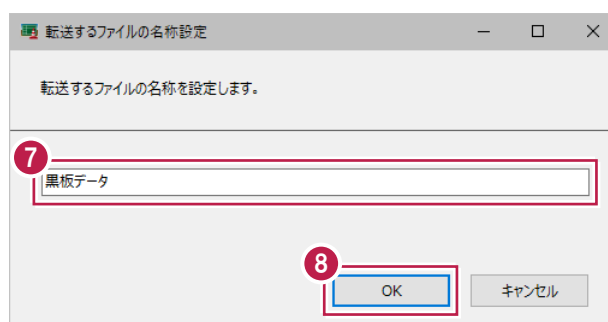
5 接続先は [USB] を選択します。

6 [OK] をクリックします。



7 転送するファイルの名称を入力します。

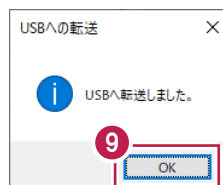
8 [OK] をクリックします。



9 [OK] をクリックします。

以上で黒板データの転送は完了です。

PC とスマートフォンから USB ケーブルを抜いて
切り離します。



「5-1 USB接続で転送された黒板データを取り込む場合」へ進みます

補足 USB 接続で黒板データの転送が失敗する場合は

USBで接続したスマートフォンへの黒板データの転送が失敗する場合は、以下を確認してください。

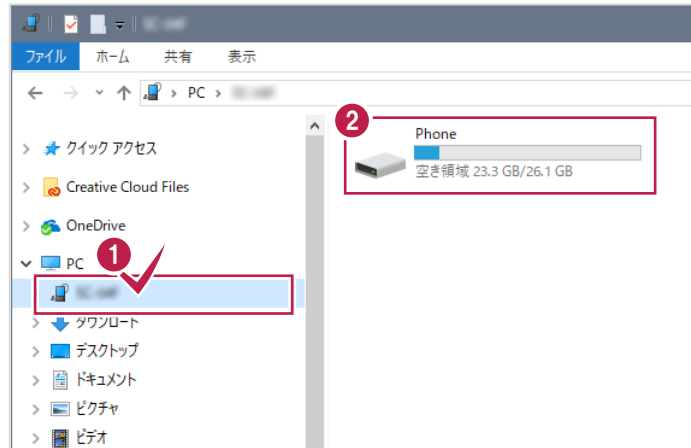
- PC のエクスプローラーでスマートフォン内のファイルが確認できますか？

正しく USB 接続されている場合は、PC のエクスプローラーでスマートフォン内のファイルが確認できます。

以下の操作で確認してください。

- 1 USB 接続した状態で、PC のエクスプローラーを開き、「PC」の下層にある「接続したスマートフォン名」をクリックします。

- 2 スマートフォン内の「Phone（内部ストレージ）」が表示されれば、正しく接続されています。



PCのエクスプローラーで

- ・接続したスマートフォン名が表示されない
- ・スマートフォン名をクリックしても何も表示されない
- ・エクスプローラーでは正常に見えるが、転送に失敗する

等の場合は、以下を確認してください。

- スマートフォンの電源は入っていますか？

スマートフォンの電源がオフになっていると転送できません。

電源を入れてください。

- スマートフォンが画面ロックされていませんか？

スマートフォンがパスワードやパターンなどで画面ロックされている状態では転送できません。

画面ロックを解除してください。

- 正常な USB ケーブルで接続していますか？

「充電専用」の USB ケーブルでは転送できません。

また、USB ケーブルの不具合の可能性もあるので、他の USB ケーブルで接続してください。

- どこでも写真管理 Plus が起動していませんか？

スマートフォンで「どこでも写真管理 Plus」が起動している場合は、「どこでも写真管理 Plus」を終了してください。

- スマートフォンに SD カードが入っていませんか？

スマートフォンに SD カードが入っていると転送が失敗する場合があります。SD カードのマウントを解除してください。

(次ページへ続きます)

(続き)

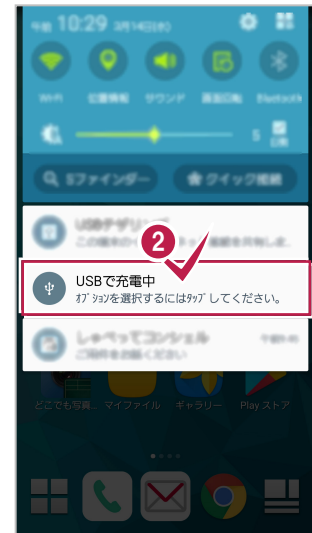
● USB 接続が「充電」モードになっていませんか？

スマートフォン側の USB 接続が「充電」モードになっていると状態だと転送できません。
以下の操作で USB 接続を「メディアファイルを転送」(MTP 接続)に変更してください。

- 1 USB 接続した状態で、スマートフォンの画面
上部から下に指をスライド (スワイプ) し、
通知領域を表示します。

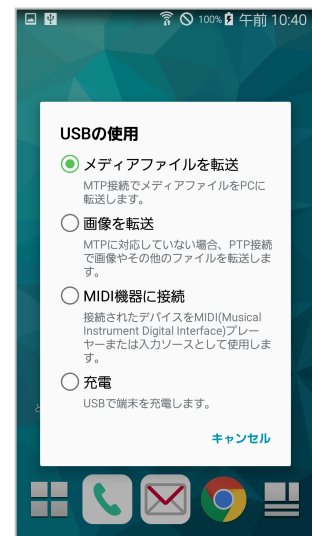
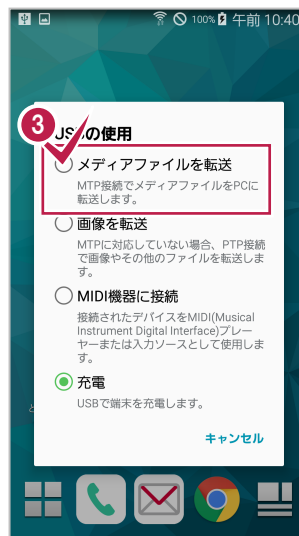
※ 通知領域のデザインや表示される内容は、
スマートフォンにより異なる場合があります。

- 2 [USB で充電中] と表示されるので、タップ
します。



- 3 [メディアファイルを転送] をタップします。
(「MTP 接続」にします。)

以上の操作で転送できるか試してください。



- 4 [メディアファイルを転送] に変更しても転送
できない場合は、同操作で再度
[メディアファイルを転送] (MTP 接続) を
指定し直してください。

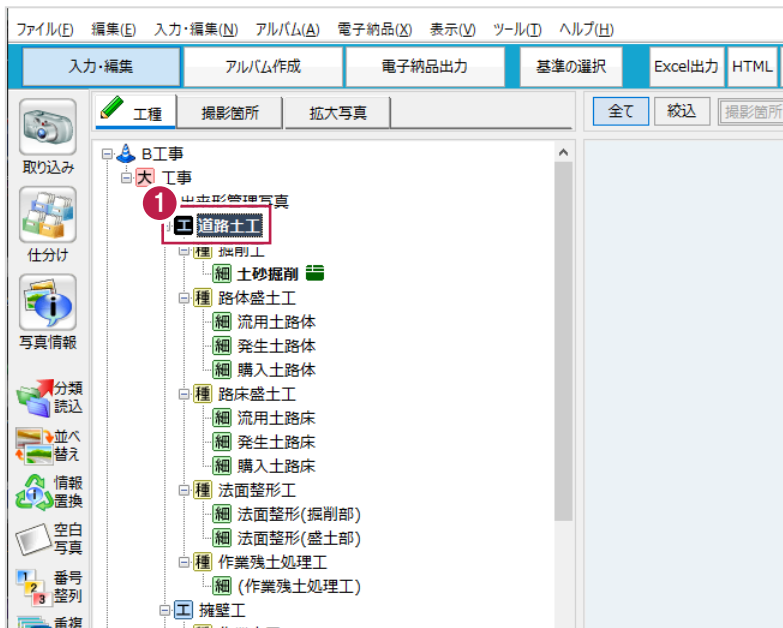
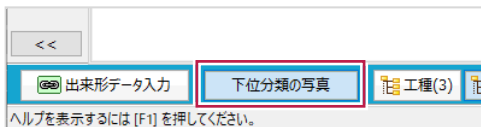


4-3 CIMPHONY Plusを使って黒板データを転送する場合

CIMPHONY Plusを利用して、インターネット経由でPCの黒板データをスマートフォンの「どこでも写真管理Plus」に転送します。

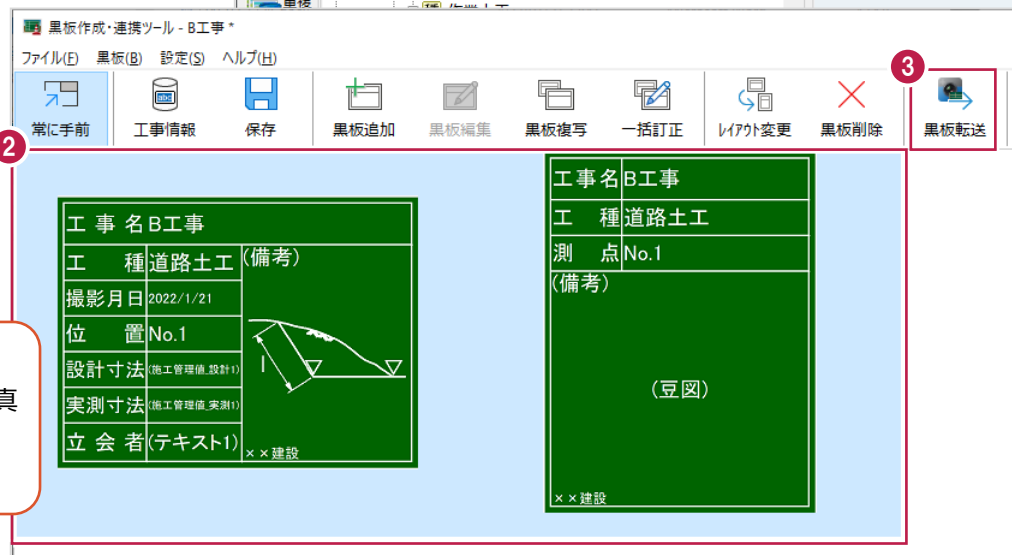
1 写真管理で分類を選択します。

下位分類の黒板をまとめて転送する場合は、
「下位分類の写真」をオンにして黒板を
表示してください。



2 黒板を選択します。

※ctrl キーで複数選択して
転送することもできます。



3 「黒板転送」をクリック します。

「設定」の「利用する撮影
アプリ・機器」は「どこでも写真
管理Plus」（右側）を選択
して操作してください。

4 接続先は「CIMPHONY Plus」を選択 します。

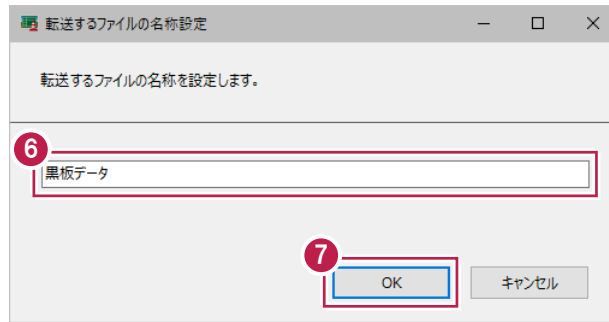
5 「OK」をクリックします。



⑥ 転送するファイルの名称を入力します。

⑦ [OK] をクリックします。

CIMPHONY Plus 連携ツールが起動します。



⑧ メールアドレスとパスワードを入力します。

⑨ [ログイン] をクリックします。

※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

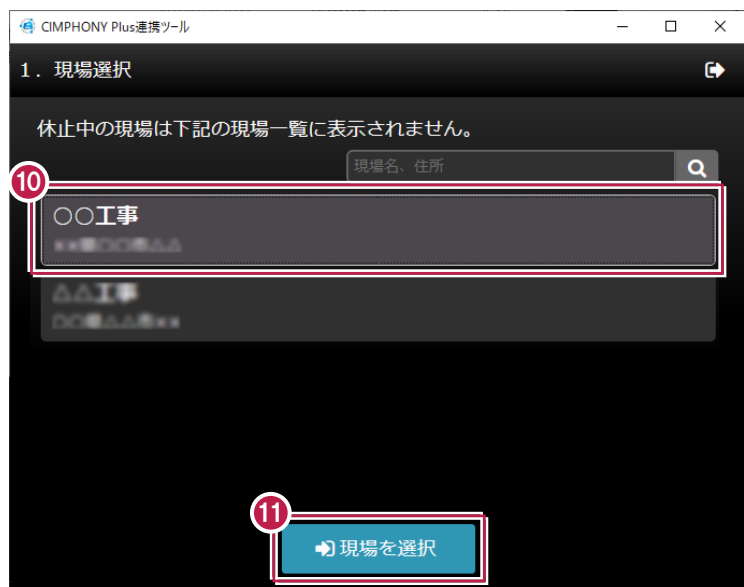


⑩ 現場を選択します。

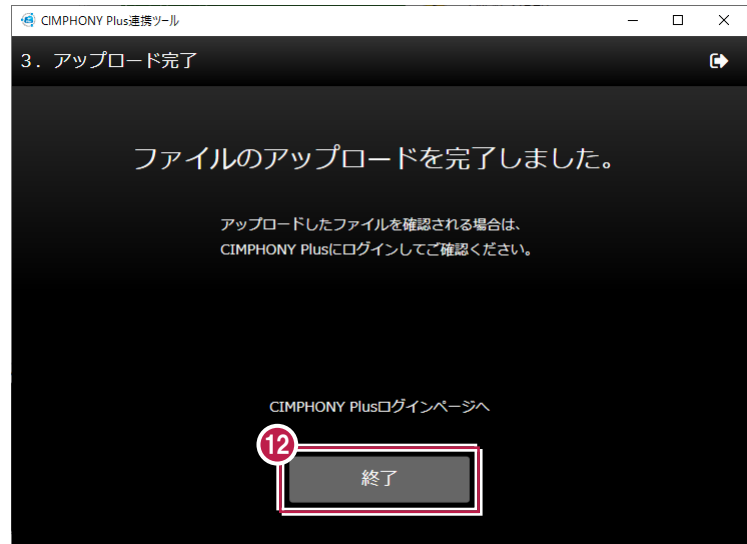
⑪ [現場を選択] をクリックします。

※CIMPHONY Plus であらかじめ現場を作成しておいてください。

※工期終了した現場にデータをアップロードすることはできません。



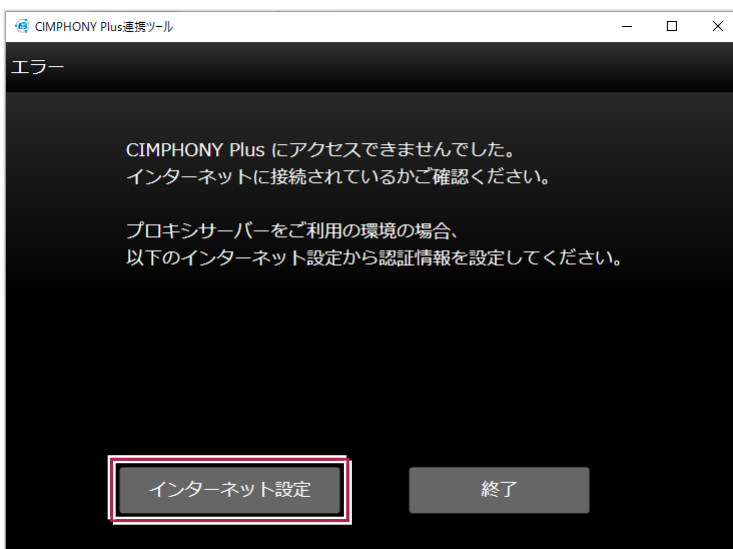
- 12 [終了] をクリックします。
ファイルが転送されます。



「5-2 CIMPHONY Plusで転送された黒板データを取り込む場合」へ進みます

補足 プロキシサーバー環境の場合

プロキシサーバー環境の場合は、インターネット設定で認証情報を設定してください。



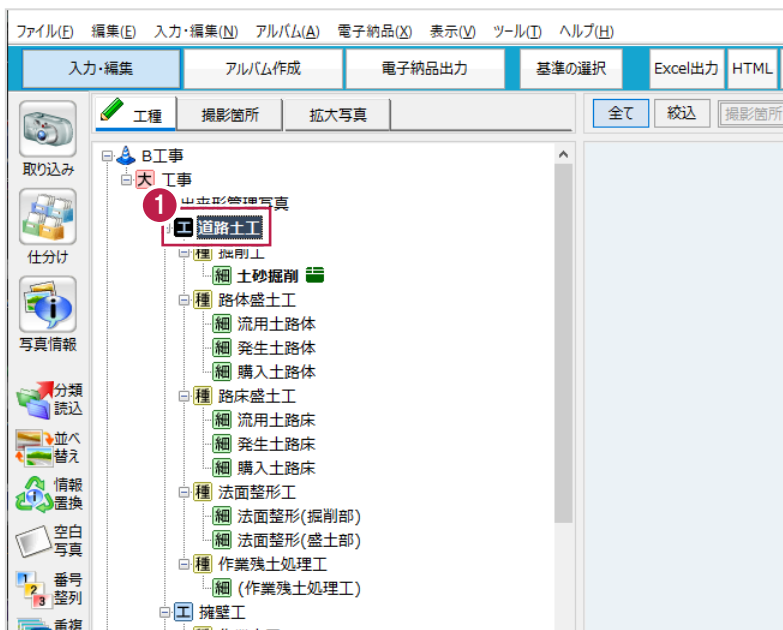
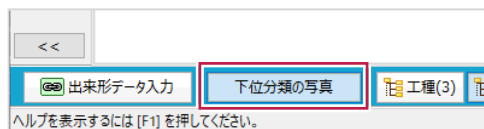
[サーバーを手動で設定する] を
選択した場合は、認証情報を
入力してください。

4-4 SnapChamberを使って黒板データを転送する場合

SnapChamberを利用して、インターネット経由でPCの黒板データをスマートフォンの「どこでも写真管理Plus」に転送します。

1 写真管理で分類を選択します。

下位分類の黒板をまとめて転送する場合は、
「下位分類の写真」をオンにして黒板を
表示してください。



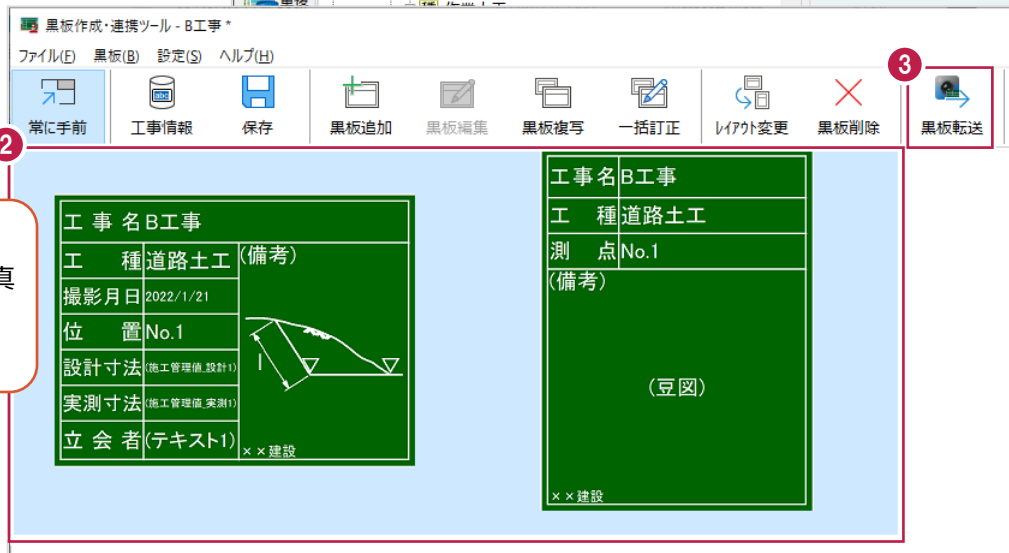
2 黒板を選択します。

※ctrl キーで複数選択して
転送することもできます。

3 「黒板転送」をクリック します。

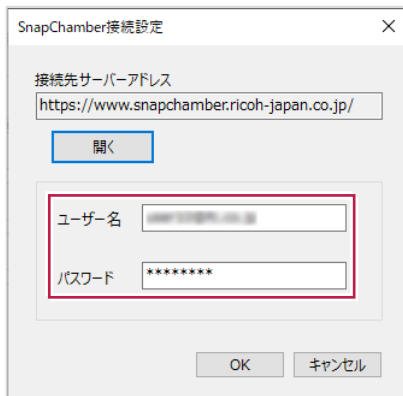
「設定」の「利用する撮影
アプリ・機器」は「どこでも写真
管理Plus」(右側)を選択
して操作してください。

4 接続先は 「SnapChamber」を 選択します。



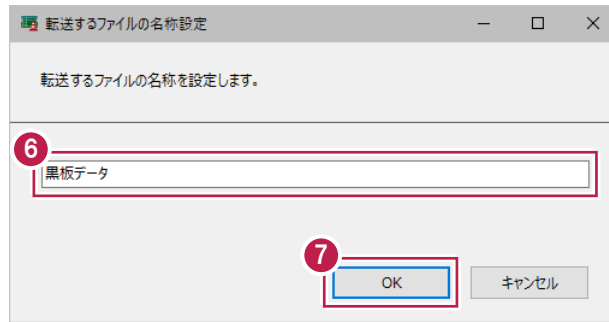
5 「OK」をクリックします。

「SC接続設定」でSnapChamberの
ユーザー名とパスワードを入力してください。



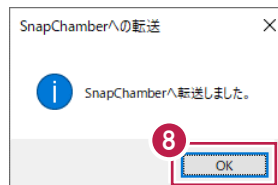
⑥ 転送するファイルの名称を入力します。

⑦ [OK] をクリックします。



⑧ [OK] をクリックします。

ファイルが転送されます。



「5-3 SnapChamberで転送された黒板データを取り込む場合」へ進みます

5

どこでも写真管理 Plus で写真を撮影する

Androidアプリ「どこでも写真管理 Plus」で、黒板作成・連携ツールから転送した黒板を使用して工事写真を撮影します。

5-1 USB接続で転送された黒板データを取り込む場合

- 1 スマートフォンで、どこでも写真管理 Plus を起動します。

黒板データを取り込む工事をタップします。



- 2 黒板作成・連携ツールから黒板データが転送された場合は、「黒板情報ファイルが見つかりました。～」と表示されます。

[OK] をタップします。

- 3 黒板データが取り込まれます。

[閉じる] をタップします。



- 4 [写真撮影] をタップします。

取り込んだ黒板データが表示されます。



補足 黒板が表示されない場合は

画面下の「お気に入り」がオンになっていると取り込んだ黒板が表示されない場合があります。「お気に入り」をタップしてオフにすると、すべての黒板が表示されます。



「5-4 電子小黒板付き写真を撮影する」へ進みます

補足 USB 接続で転送した黒板データが受信できない場合は

黒板データを転送したのに、「黒板情報ファイルが見つかりました。～」と表示されない場合は、以下の操作を試してください。



① 「工事一覧」画面で、黒板データを取り込む予定の工事をタップして選択します。

② 「工事一覧」をタップして、「工事一覧」画面に戻ります。

受信済みファイルの確認は、「工事」を選択したタイミングでおこなわれますので、この操作を何度か試してみてください。



5-2 CIMPHONY Plusで転送された黒板データを取り込む場合

① スマートフォンで、どこでも写真管理 Plus を起動して、工事を選択します。

② [クラウド] のアイコンをタップします。



③ [CIMPHONY Plus を使用] を選択します。

④ [写真管理の分類・豆図・黒板のダウンロード] の [ダウンロード開始] をタップします。

ブラウザ（ここでは Google Chrome）で開きます。



⑤ CIMPHONY Plus のログイン画面が開きます。

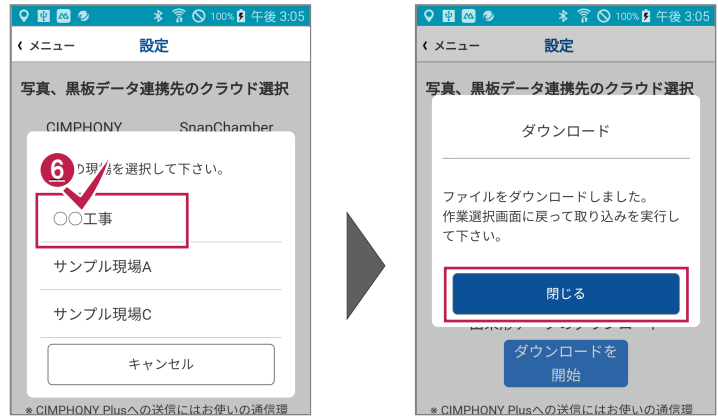
[メールアドレス] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。



- ⑥ 黒板データを転送した CIMPHONY Plus の現場をタップします。

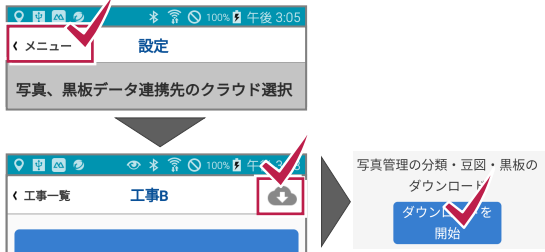
※工期終了した現場は表示されません。

ダウンロードが終わったら、[閉じる] をクリックします。



補足 待機状態が長く続く場合

回線などの問題でダウンロードが完了しない場合は、一旦 [メニュー] をタップして戻り、再度 [クラウド] の [写真管理の分類・豆図・黒板のダウンロード] の [ダウンロードを開始] をタップしてください。



- ⑦ [メニュー] をタップします。

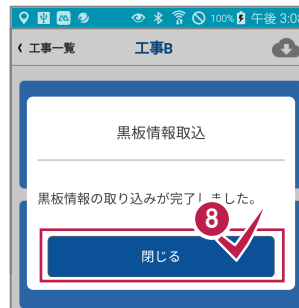
黒板作成・連携ツールから黒板データが転送された場合は、「黒板情報ファイルが見つかりました。～」と表示されます。

[OK] をタップします。



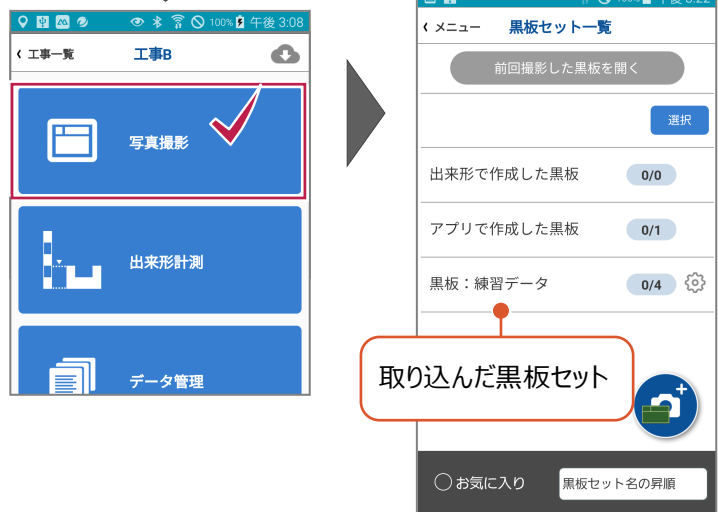
- ⑧ 黒板データが取り込まれると確認のメッセージが表示されますので [閉じる] タップします。

[写真撮影] をタップすると、取り込んだ黒板データが表示されます。



補足 黒板が表示されない場合は

画面下の「お気に入り」がオンになっていると取り込んだ黒板が表示されない場合があります。「お気に入り」をタップしてオフにすると、すべての黒板が表示されます。



「5-4 電子小黒板付き写真を撮影する」へ進みます

5-3 SnapChamberで転送された黒板データを取り込む場合

- 1 スマートフォンで、どこでも写真管理 Plus を起動します。
黒板データを取り込む工事をタップします。



- 2 [クラウド] アイコンをタップします。
- 3 [SnapChamber を使用] を選択します。
- 4 [写真管理の分類・豆図・黒板のダウンロード] の [ダウンロードを開始] をタップします。



補足 待機状態が長く続く場合

回線などの問題でダウンロードが完了しない場合は、一旦 [メニュー] をタップして戻り、再度 [クラウド] の [ダウンロードを開始] をタップしてください。



- 5 ダウンロードを終えたら、[閉じる] をクリックします。
- 6 [メニュー] をタップして戻ります。
「受信済みファイルが見つかりました。～」と表示されます。
取り込むデータをタップします。



7 「黒板情報ファイルが見つかりました。～」と表示されます。

[OK] をタップします。

8 黒板データが取り込まれます。

[閉じる] をタップします。



9 [写真撮影] をタップします。

取り込んだ黒板データが表示されます。



補足 黒板が表示されない場合は

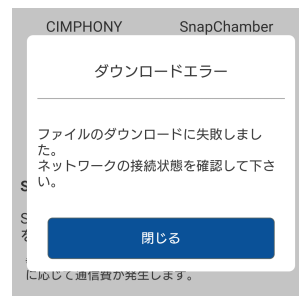
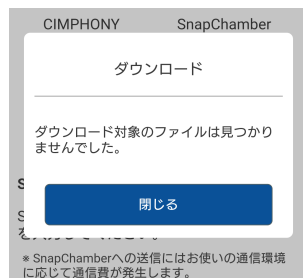
画面下の「お気に入り」がオンになっていると取り込んだ黒板が表示されない場合があります。「お気に入り」をタップしてオフにすると、すべての黒板が表示されます。



「5-4 電子小黒板付き写真を撮影する」へ進みます

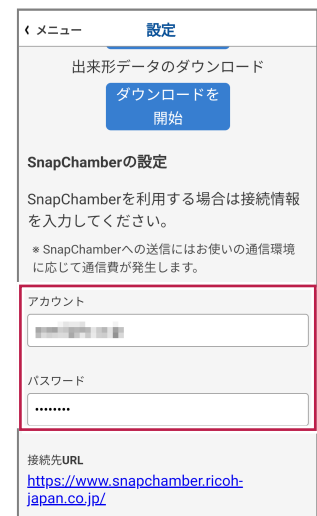
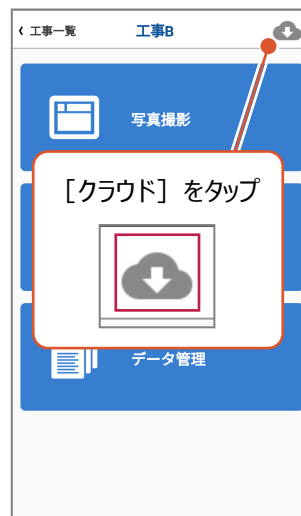
補足 SnapChamber で転送した黒板データが受信できない場合は

黒板データを転送したのに、[分類・豆図・黒板のダウンロード] で「ダウンロードエラー」やダウンロードできないという表示が出て、黒板データがダウンロードできない場合はSnapChamberの設定で「アカウント」と「パスワード」を確認してください。



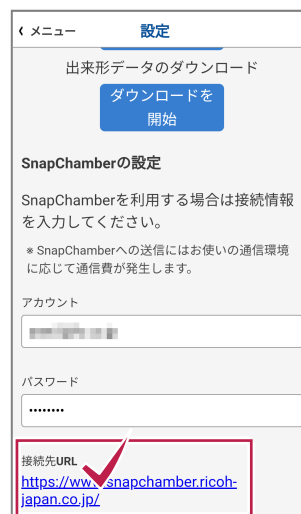
「アカウント」と「パスワード」の前後にスペースが入っていないかも確認してください。

PCの「黒板作成・連携ツール」のSnapChamber接続設定と同じ「アカウント（ユーザー名）」と「パスワード」が設定されているかも確認してください。



SnapChamberの「アカウント」と「パスワード」が使用可能かどうかを調べる場合は、「接続先URL」をタップします。

表示されるSnapChamberのログイン画面で、
アカウント → ログイン画面のユーザーID
パスワード → ログイン画面のPASSWORD
に入力して、ログインできるかどうかを確認してください。



5-4 電子小黑板付き写真を撮影する

- ① 使用する黒板が格納された黒板セットをタップします。

格納されている黒板が一覧表示されます。



- ② 撮影で使用する黒板をタップします。

黒板情報が表示されます。



- ③ [黒板情報] タブと [写真情報] タブをタップして、黒板情報と写真情報をそれぞれ確認します。

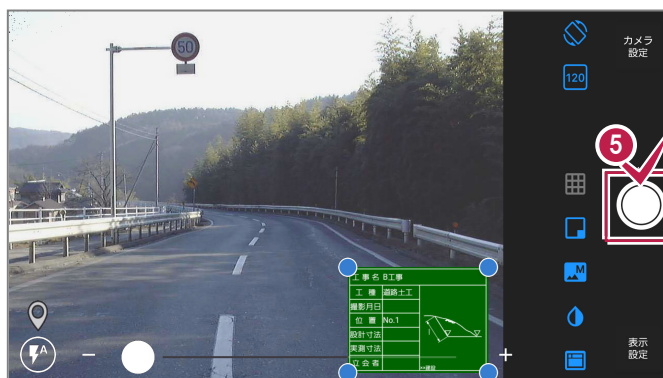
現場で入力する項目がある場合は、ここで入力します。



- 4 写真を撮影します。[黑板情報] タブの [撮影] (カメラマーク) をタップします。カメラが表示されます。



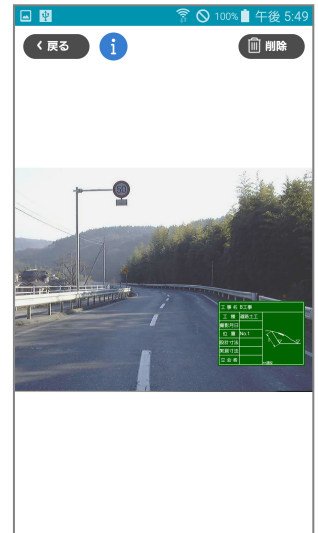
- 5 黑板の位置はドラッグして移動できます。黑板のサイズは黑板の四隅の「○」をドラッグして変更できます。黑板の位置とサイズが決まったら、[撮影] ボタン (◎) をタップして写真を撮影します。



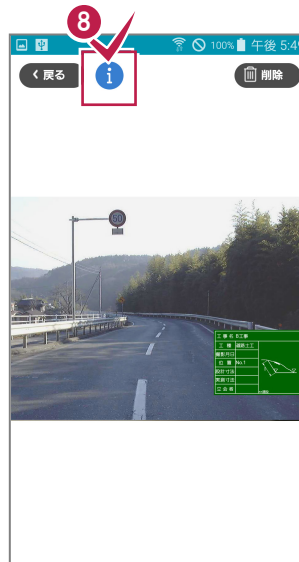
- 6 撮影を終えたら、撮影画面左上の [戻る] ボタンで黑板情報画面に戻ります。



- 7 撮影写真をタップして確認します。
撮影した写真が拡大表示されます。



- 8 [情報] (iマーク) をタップします。
撮影した写真に関する情報が表示されるので、確認します。



- 9 確認を終えたら、左上の [黑板情報] [黑板一覧] とタップして、黑板一覧まで戻ります。
撮影を続ける場合は 2 からの手順（黑板選択→写真撮影）を繰り返して写真を撮影します。

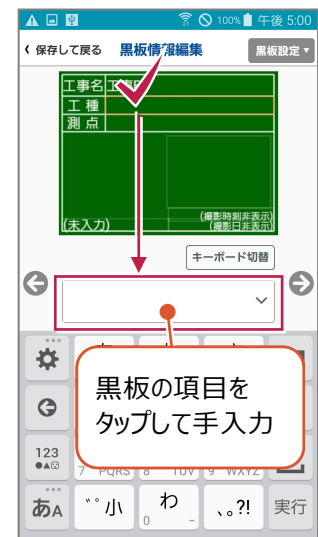


補足 現場で黒板を作成するときは

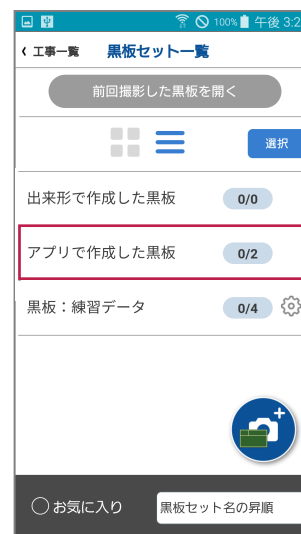
現場で黒板を新規作成する場合は、「黒板セット一覧」または「黒板一覧」画面に表示される「黒板追加」ボタンをタップします。



どこでも写真管理Plusに内蔵されている黒板が表示されますので、使用する黒板を選択し、黒板の内容を手入力して作成します。



作成した黒板は、黒板セットの「アプリで作成した黒板」に格納されるので、写真を撮影するときはここから黒板を選択して撮影します。



6

撮影した写真を写真管理に取り込む

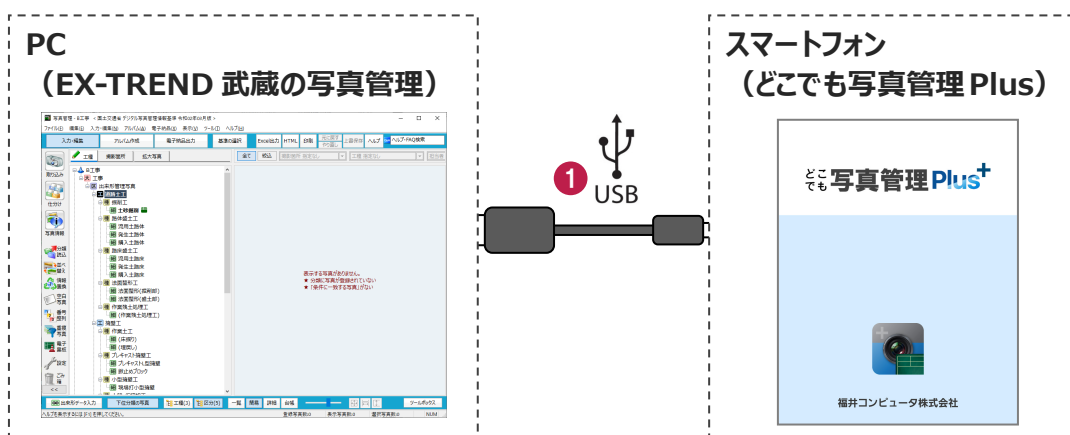
撮影した写真を、EX-TREND武蔵の写真管理で取り込みます。取り込む方法は3通りあります。

- ・USBケーブルで接続して取り込み →6-1の操作をおこないます
- ・CIMPHONY Plusを使って取り込み（インターネット経由）→6-2の操作をおこないます
- ・SnapChamberを使って取り込み（インターネット経由）→6-3の操作をおこないます

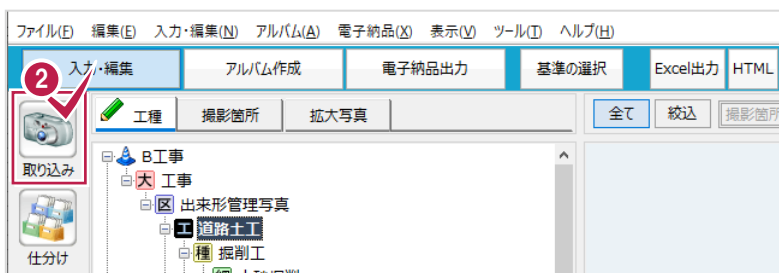
6-1 USB接続で写真を取り込む場合

PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続し、EX-TREND武蔵の写真管理に写真を取り込みます。

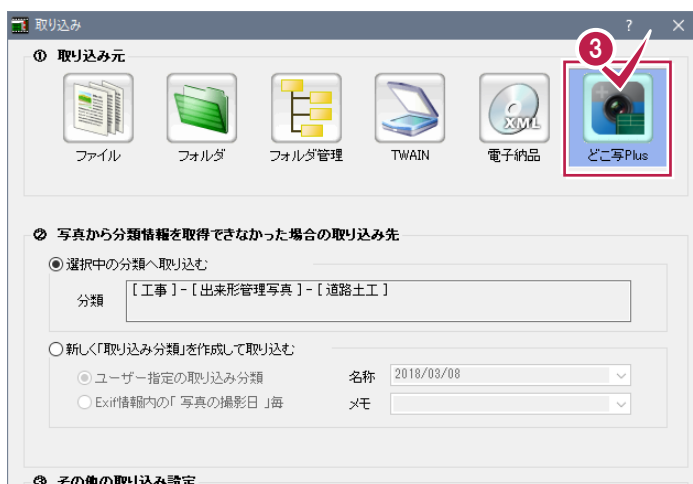
- 1 PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。



- 2 EX-TREND 武蔵の写真管理で、[取り込み] をクリックします。



- 3 [どこ写 Plus] をクリックします。



4 [OK] をクリックします。



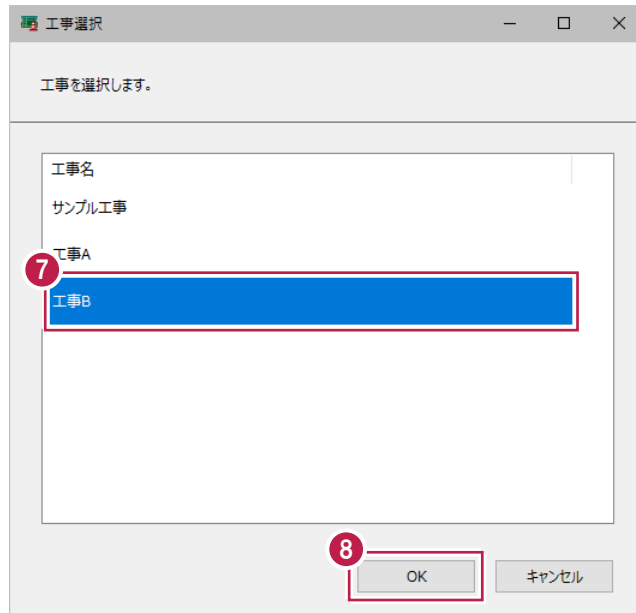
5 接続先は [USB] を選択します。

6 [OK] をクリックします。



- 7 スマートフォン内の工事の一覧が表示されます。
写真を取り込む工事を選択します。

- 8 [OK] をクリックします。



- 9 画像の取得対象を選択します。

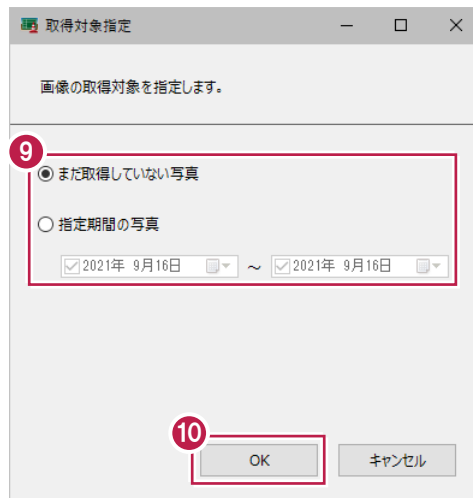
【まだ取得していない写真】

一度も取得していない写真のみ取り込みます。

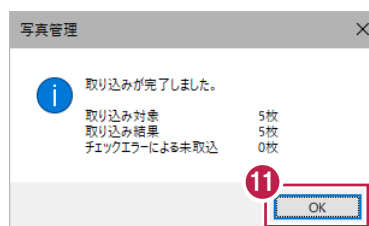
【指定期間の写真】

指定した期間内の写真をすべて取り込みます。

- 10 [OK] をクリックします。

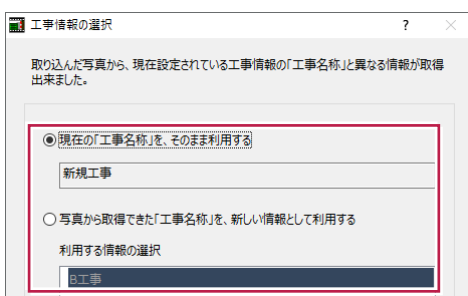


- 11 取り込み完了のメッセージが表示されるので、
[OK] をクリックします。



補足 工事情報の選択

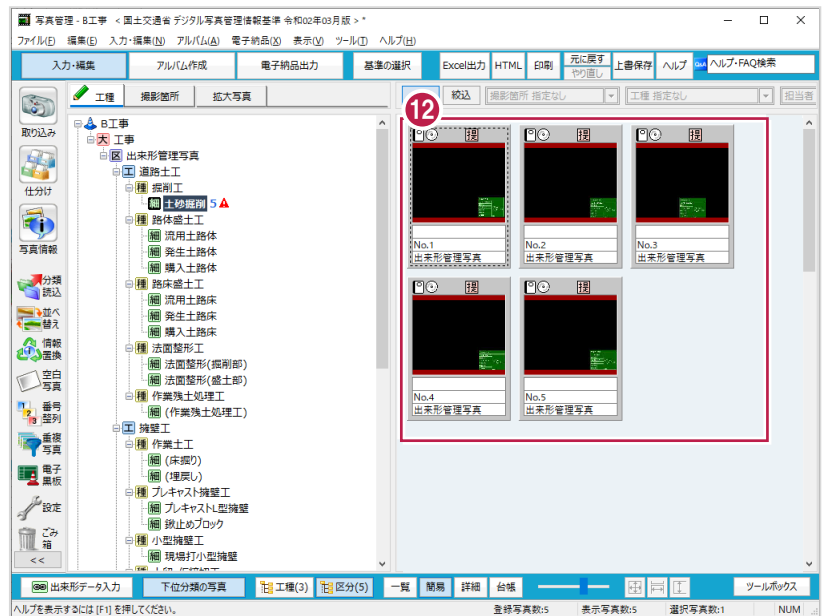
写真管理とどこでも写真管理Plusの「工事名称」や「受注者名」が異なる場合はダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。



12 写真が取り込まれます。

以上で写真の取り込みは完了です。

PCとスマートフォンからUSBケーブルを抜いて切り離します。



6-2 CIMPHONY Plusを使って写真を取り込む場合

CIMPHONY Plusを利用して、インターネット経由でEX-TREND武蔵の写真管理に写真を取り込みます。

まず、スマートフォンの「どこでも写真管理 Plus」で、写真を CIMPHONY Plus に送信します。

① どこでも写真管理 Plus で、写真を撮影した工事をタップして開きます。

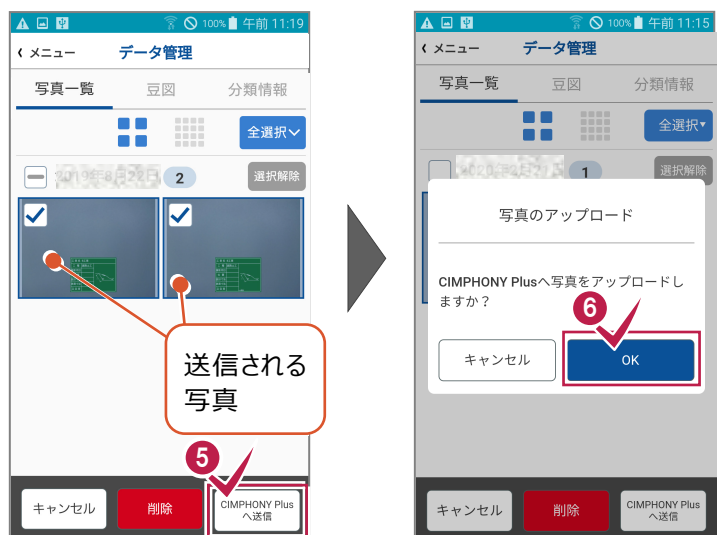
② [データ管理] をタップします。

③ 写真一覧が表示されます。
[全選択] をタップします。

④ [全選択] をタップします。

⑤ 送信される写真にチェックマークが表示されます。
[CIMPHONY Plus へ送信] をタップします。

⑥ [OK] をタップします。



補足 【SnapChamber へ送信】と表示されている場合
メニューに戻って、【クラウド】のアイコンをタップし、
【CIMPHONY Plusを使用】を選択してください。



7 写真を取り込む CIMPHONY Plus の現場を選択します。

※工期終了した現場は表示されません。

同期完了後、[閉じる] をタップします。



8 写真が「CIMPHONY Plus 送信済」になります。

補足 転送が失敗する場合

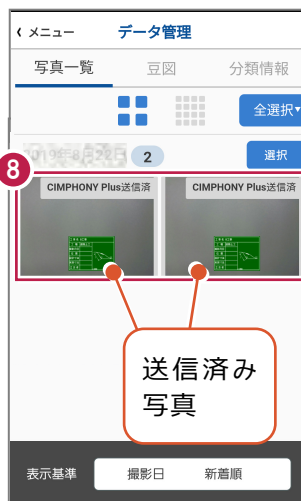
回線の状態により、転送が失敗する場合があります。その場合は、転送する写真の枚数を減らして、再度転送をおこなってください。

補足 同名のファイルを登録済みの場合

CIMPHONY Plusに同名のファイルが存在する場合、ファイル名末尾に連番が付記されます。

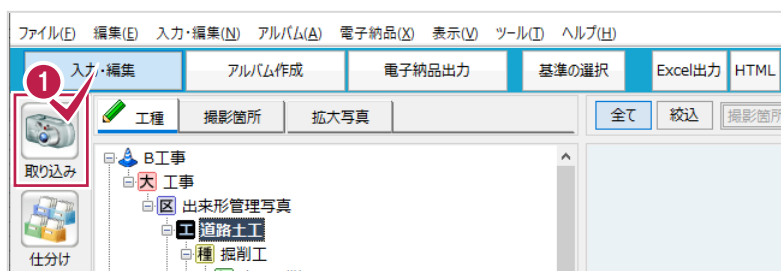
例) 「ファイル名-(1).jpg」

※自動リネームによりファイル名が100文字を超える場合はファイル登録されません。



次に、EX-TREND 武蔵の写真管理で CIMPHONY Plus から写真を取り込みます。

1 EX-TREND 武蔵の写真管理で、[取り込み] をクリックします。



2 [どこ写 Plus] をクリックします。

3 [OK] をクリックします。



4 接続先は [CIMPHONY Plus] を選択します。

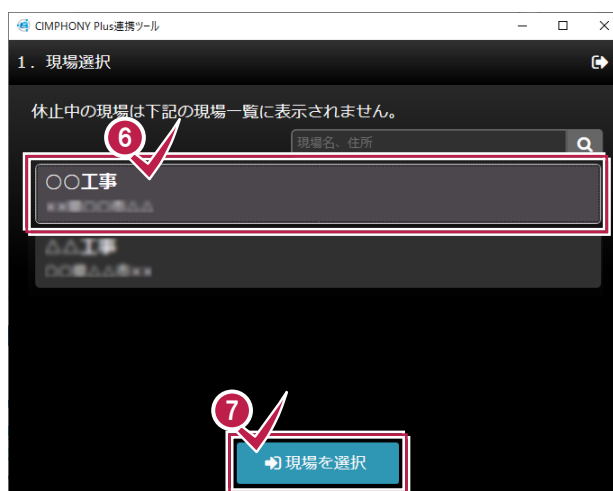
5 [OK] をクリックします。



6 CIMPHONY Plus 内の工事の一覧が表示されます。

写真を取り込む工事を選択します。

7 [現場を選択] をクリックします。



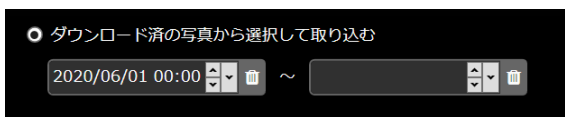
8 [ダウンロード条件] を選択します。

9 [ダウンロード] をクリックします。

● [まだダウンロードしていない写真] を選択すると、CIMPAPHONY Plusから一度もダウンロードされたことのない写真のみ取り込みます。

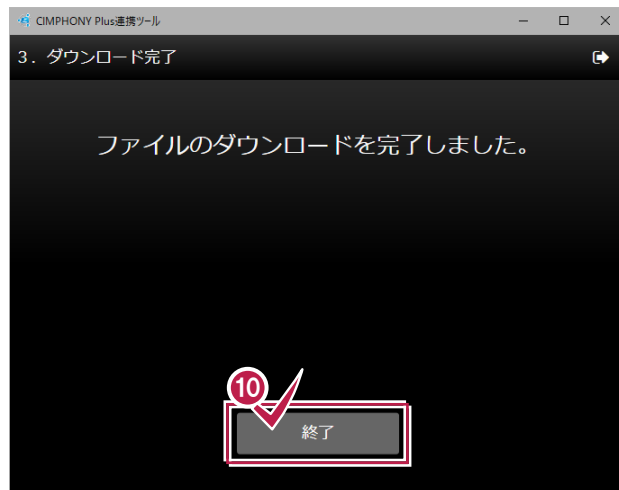
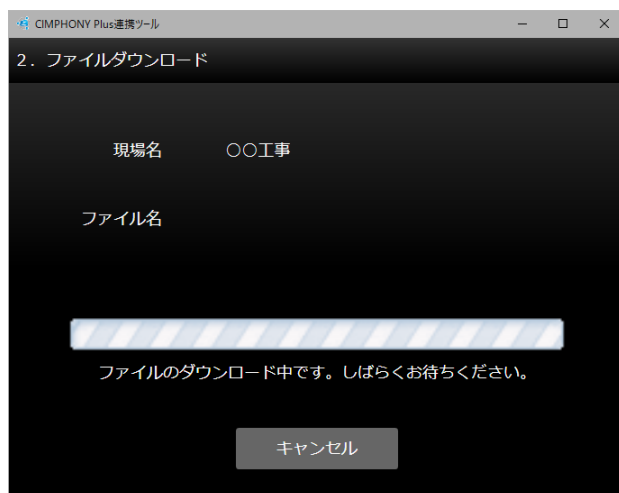
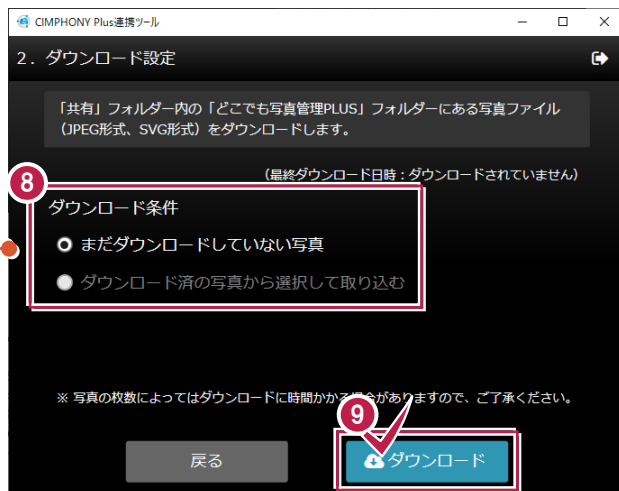
(CIMPAPHONY Plusのユーザーが一度でもダウンロードした写真は「ダウンロード済み」として扱われます。)

● [ダウンロード済の写真から選択して取り込む] を選択すると、撮影期間を指定して過去にダウンロードした写真の中から選択して取り込むことができます。誤って削除した写真を再度取り込みたい場合や、他のユーザーがダウンロード済みの写真を取り込みたい場合などに使用してください。



※写真の上にマウスを移動すると、ファイル情報が確認できます。

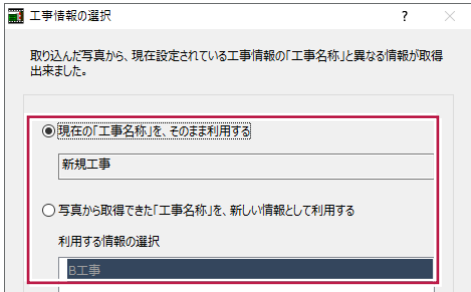
10 ダウンロード完了後、[終了] をクリックします。



- 11 取り込み完了のメッセージが表示されるので、
[OK] をクリックします。

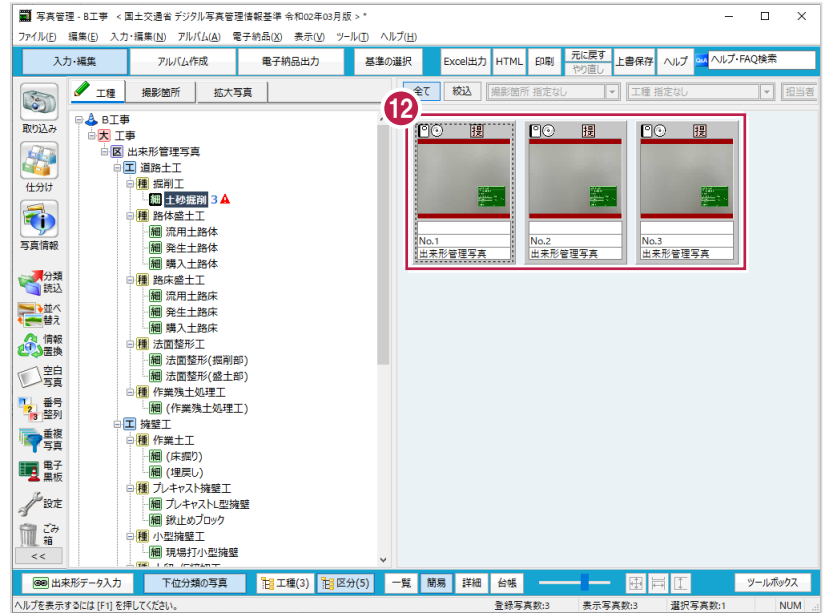
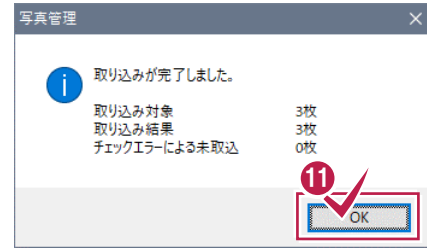
補足 工事情報の選択

写真管理とどこでも写真管理Plusの「工事名称」や「受注者名」が異なる場合はダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。



- 12 写真が取り込まれます。

以上で写真の取り込みは完了です。



6-3 SnapChamberを使って写真を取り込む場合

SnapChamberを利用して、インターネット経由でEX-TREND武蔵の写真管理に写真を取り込みます。

まず、スマートフォンの「どこでも写真管理 Plus」で、写真を SnapChamber に送信します。

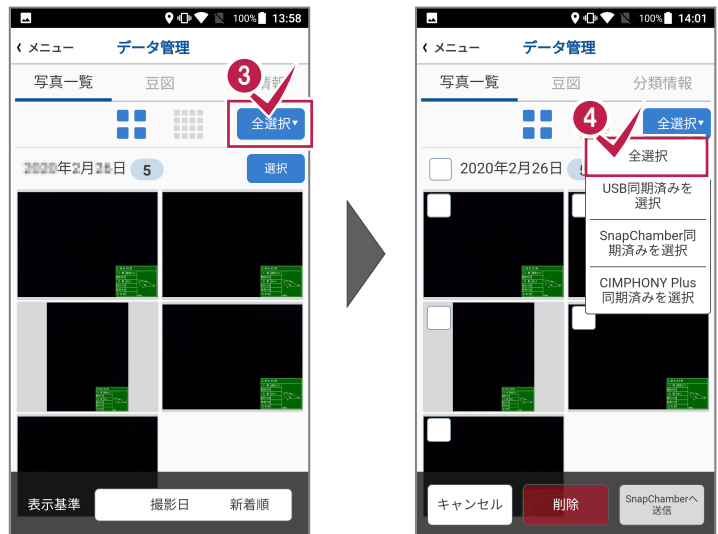
① どこでも写真管理 Plus で、写真を撮影した工事をタップして開きます。

② [データ管理] をタップします。



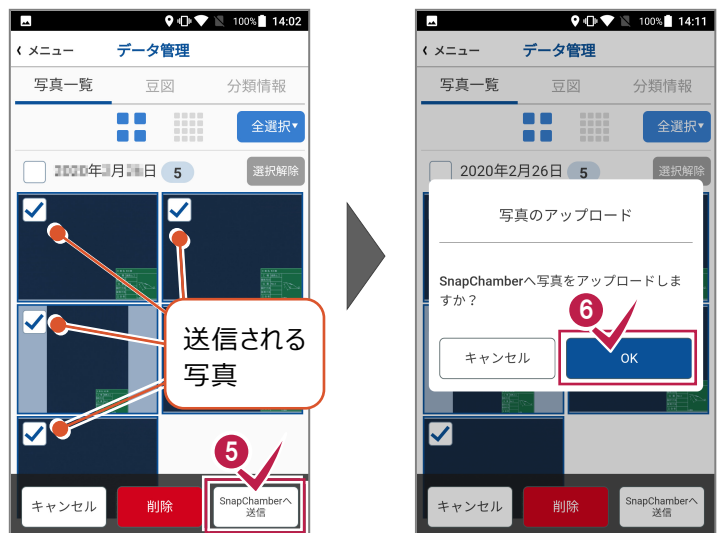
③ 写真一覧が表示されます。
[全選択] をタップします。

④ [全選択] をタップします。



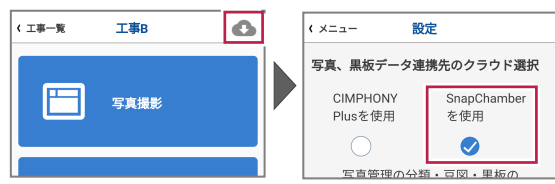
⑤ 送信される写真にチェックマークが表示されます。
[SnapChamber へ送信] をタップします。

⑥ [OK] をタップします。



補足 【CIMPHONY Plus へ送信】と表示されている場合

メニューに戻り、[クラウド] をタップして、
[SnapChamberを使用] を選択してください。



- 7 [閉じる] をタップします。
写真が「SnapChamber 送信済」になります。

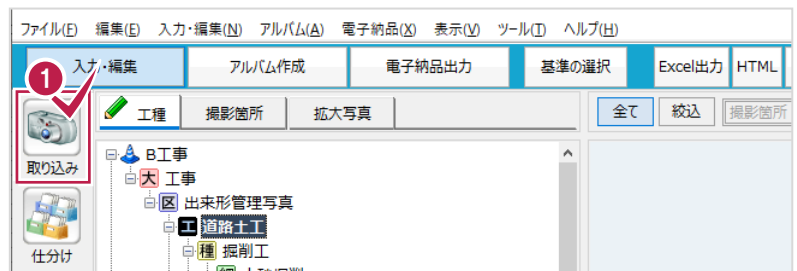
補足 転送が失敗する場合

回線の状態により、転送が失敗する場合があります。その場合は、転送する写真の枚数を減らして、再度転送をおこなってください。



次に、EX-TREND 武蔵の写真管理で SnapChamber から写真を取り込みます。

- 1 EX-TREND 武蔵の写真管理で、[取り込み] をクリックします。



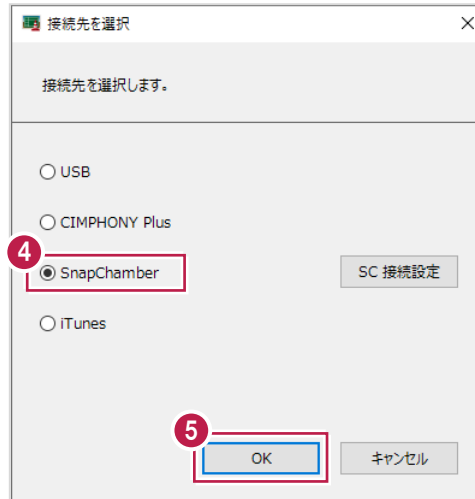
- 2 [どこ写 Plus] をクリックします。

- 3 [OK] をクリックします。



4 接続先は [SnapChamber] を選択します。

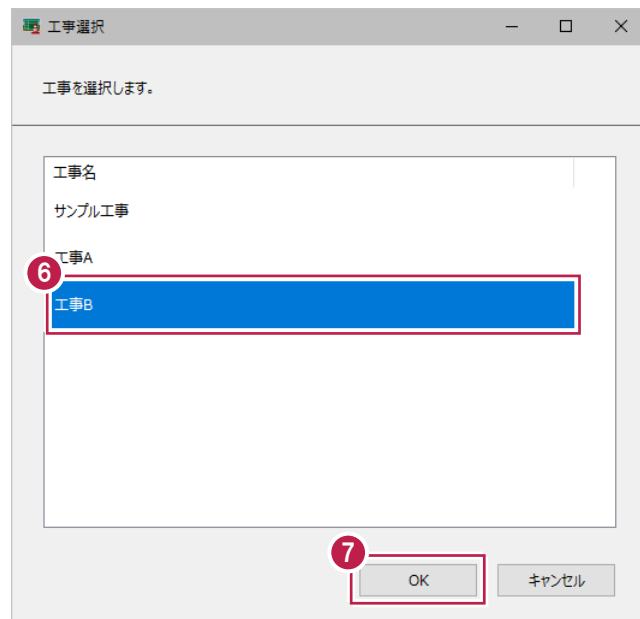
5 [OK] をクリックします。



6 SnapChamber 内の工事の一覧が表示されます。

写真を取り込む工事を選択します。

7 [OK] をクリックします。



8 画像の取得対象を選択します。

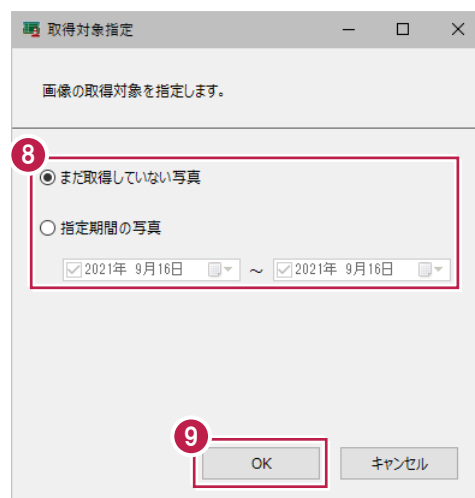
[まだ取得していない写真]

一度も取得していない写真のみ取り込みます。

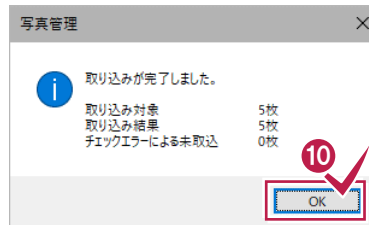
[指定期間の写真]

指定した期間内の写真をすべて取り込みます。

9 [OK] をクリックします。

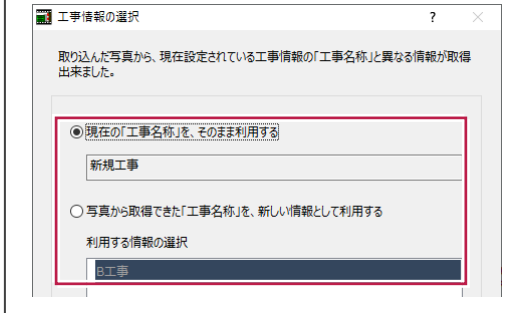


- 10 取り込み完了のメッセージが表示されるので、
[OK] をクリックします。



補足 工事情報の選択

写真管理とどこでも写真管理Plusの「工事名称」や「受注者名」が異なる場合はダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。



- 11 写真が取り込まれます。

以上で写真の取り込みは完了です。

